



 **Husqvarna**[®]



K 970 III RING

目次

はじめに.....	2	トラブルシューティング.....	32
安全性.....	4	搬送、保管、廃棄.....	33
組立.....	10	主要諸元.....	33
Operation (操作).....	14	適合宣言.....	36
メンテナンス.....	22		

はじめに

製品の説明

パワーカッター HUSQVARNA、は、2 ストローク燃焼エンジンを搭載した携帯型の手持ち式切断ツールです。

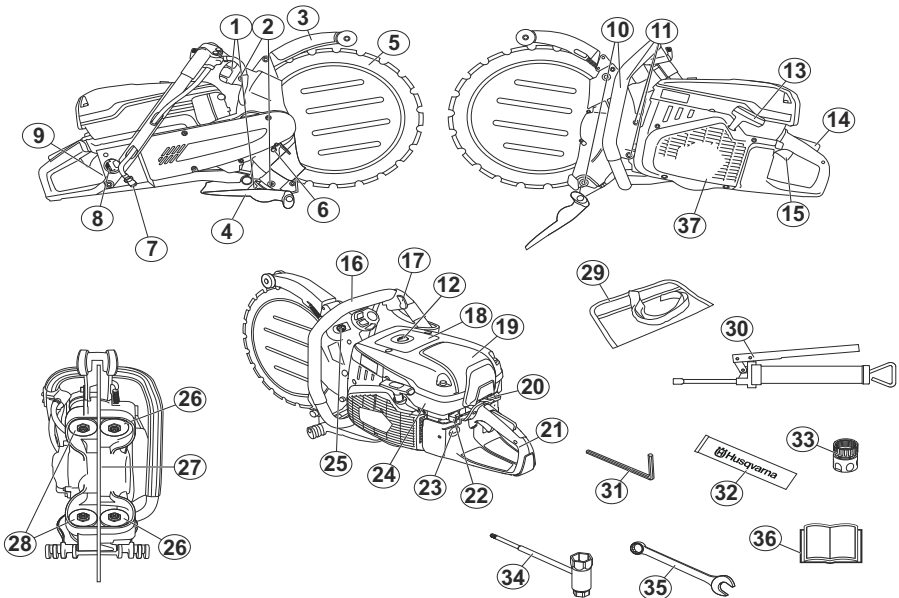
用途

本製品は、コンクリート、石材、石、鋼材などの硬い材質の切断に使用します。他の作業に本製品を使用しないでください。本製品は、必ず経験豊富な作業者が使用してください。

弊社では、皆様の安全と作業の効率性を向上させるため、常に製品の改善に力を入れています。詳しくは、サービス代理店までお問い合わせください。

注記： 本製品の使用においては、現地の法規制が課せられる場合があります。

Product overview K 970 III RING



1. Control for the guide rollers knobs
2. Grease nipples
3. Blade guard
4. Spray guards
5. Diamond blade (not supplied)

6. Locking button for the drive wheel
7. Water connection with filter
8. Fuel cap
9. Rating plate
10. Adjuster screws

11. Cover screws
12. Decompression valve
13. Starter handle
14. Throttle trigger lockout
15. Throttle trigger
16. Front handle
17. Water tap
18. Warning decal
19. Air filter cover
20. Choke control with start throttle
21. Rear handle
22. Stop switch
23. Air purge
24. Cylinder cover
25. Locking nuts for the support roller arms
26. Support rollers
27. Drive wheel
28. Guide rollers
29. Tool bag
30. Grease gun
31. 6 mm hex key
32. Bearing grease
33. Water connector, GARDENA®
34. Combination spanner, torx
35. Open-ended spanner, 19 mm
36. Operator's manual
37. Starter housing

さい。キックバック 14 ページを参照してください。



カッティングブレードから発生する火花により、燃料、木材、衣服、乾燥した草、その他の可燃物に火災が発生する可能性があります。



カッティングブレードにヒビやその他の損傷がないことを確認してください。



円形ソーブレードは使用しないでください。



チョーク



エアパーズバルブ



デコンプバルブ



スターターロープハンドル



ガソリンとオイルの混合燃料を使用してください。



本製品は EU 指令適合製品です。



環境に対する騒音排出は EC 指令に準拠しています。製品の騒音排出については、*使用者の身体保護具 6* ページおよびバリエーションに記載されています。

製品に表記されるシンボルマーク



警告：本製品の使用は危険を伴います。操作者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。十分に注意し、本製品を正しく使用してください。



本製品を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みになり、指示内容をよく理解してください。



認可された保護ヘルメット、イヤマフ、防護メガネ、および呼吸器保護具を使用してください。使用者の身体保護具 6 ページを参照してください。



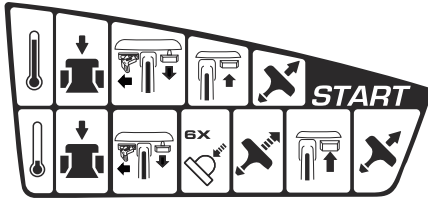
鋸断時には粉塵が発生します。粉塵を吸入すると健康を害する恐れがあります。認定の呼吸器保護具を使用してください。排気ガスを吸引しないようにしてください。常時、換気を十分に行ってください。



警告！キックバックは突然かつ急に、勢いよく発生し、命にかかわる傷害を発生させることがあります。本製品を使用する前に、本書の説明をよく読み、理解してくだ

注記： 本製品に付いている他のシンボル/ステッカーはそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

始動方法説明ラベル



手順については、「To start the product with a cold engine19 ページ」および「To start the product with a warm engine21 ページ」を参照してください。

ユーロ V 排出規制



警告： エンジンを改造すると、この製品の EC 型式認証が無効になります。

安全性

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するのために使用されます。

一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 不注意な取り扱いや誤った取り扱いをするとパワーカッターは危険な道具となり、重傷や死亡にいたるおそれがあります。本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。また、作業者が本製品を初めて使用する場合、使用前に実践的な指示を受けることを推奨します。
- 本製品を改造しないでください。メーカーが認可していない改造は、重傷や死亡事故の原因となるおそれがあります。

製品の損傷

以下の場合、当社は製品の損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリ、またはメーカーの認可していないアクセサリを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定販売店で本製品が修理されていない場合。

- 他の人が本製品に変更を加えた可能性がある場合は、本製品を操作しないでください。
- 常に、純正のアクセサリやスペアパーツを使用してください。メーカーが認可していないアクセサリやスペアパーツは、重傷や死亡事故の原因となるおそれがあります。
- 本製品は清潔に保ってください。標識やラベルがはっきりと読み取れるようにしてください。
- 子供や本製品の扱いに不慣れな人に本製品を使用させないようにしてください。
- 取扱説明書を読んで内容を理解した人へのみ本製品を運転させてください。
- 許可された人のみが本製品を操作してください。
- 本製品では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻な重傷や死亡の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している方は、本製品を使用する前に主治医および医療用インプラントの製造元に相談することをお勧めします。
- この取扱説明書に記載されている情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。安全性に懸念が生じる状態になったら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。販売店にお問い合わせください。確信を持ってない作業は行わないでください。

操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- パワーカッターを使用する前に、キックバックの影響とその回避方法を理解する必要があります。キックバック 14 ページを参照してください。
- この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、保守作業を行ってください。一部のメンテナンスと整備は、認定サービスセンターが実施する必要があります。はじめに 22 ページを参照してください。
- 本製品に不具合がある場合は使用しないでください。
- 疲労時、疾病時、アルコールや医薬品の影響が残っているときは、本製品を使用しないでください。これらの条件は、視力、注意力、調整力、判断力に悪影響を及ぼす可能性があります。
- ベルトやベルトガードが取り付けられていない状態で、本製品を始動させないでください。クラッチが緩んで負傷の原因となることがあります。
- カuttingブレードからの火花がガソリン、ガス、木、衣服、枯れ草などの可燃物に引火する可能性があります。
- アスベスト材を切断しないでください。

作業エリアの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- パワーカッターの安全距離は **15 m/50 フィート** です。作業エリアに動物や人がいないことを確認してください。
- 作業エリアに障害物がなく、足と身体を安定した位置にするまでは、本製品を操作しないでください。
- 製品の安全な操作を妨げる可能性がある人、物、状況に注意してください。
- 人や物が切断装置に接触したり、切断中に飛び散る断片が人や物に当たったりしないようにしてください。
- 霧、雨、強風、寒冷、落雷などの悪天候下で本製品を使用しないでください。悪天候で本製品を使用すると、判断力に悪影響が生じる可能性があります。悪天候の場合、路面が滑りやすくなるなど、危険な作業状態を引き起こすことがあります。
- 本製品の操作中は、物が緩んで落下したり、作業者が負傷したりしないようにしてください。
- 斜面で本製品を操作する場合は十分に注意してください。
- 作業エリアは清潔で明るい状態に保ってください。
- 本製品を操作する前に、作業エリアに電気ケーブル、水、ガスパイプ、可燃性物質などの見えにくい危険がないことを確認してください。見えにくい異物に本製品が衝突した場合は、直ちにエンジンを停止し、本製品と異物を調べてください。続行しても安全であることがわかるまで、本製品の操作を再開しないでください。
- ドラム、パイプ、またはその他の容器を切断する前に、可燃性の物質や、火災や爆発の原因となる物質が入っていないことを確認してください。

振動への安全対策



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品の操作中、振動が本製品から作業者に伝わります。本製品を定期的かつ頻繁に操作すると、作業者の負傷の程度が増加するおそれがあります。怪我は、指、手、手首、腕、肩、神経と血液供給、またはその他の身体の一部で発生する可能性があります。怪我のために衰弱する場合や永続的な怪我になる場合があり、数週間、数か月、または数年の間に徐々に悪化する可能性があります。可能性がある怪我には、血液循環系、神経系、関節、およびその他の身体構造の損傷が含まれます。
- 症状は、製品の操作中またはその他のときに発生することがあります。症状があるときに本製品を操作し続けると、症状が悪化するか、または恒久的になる場合があります。以下の症状またはその他の症状が発生した場合は、医師の診断を受けてください。
 - しびれ、感覚まひ、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、やけど、ずきずきする痛み、ぎこちなさ、力が入らない、皮膚の色や状態の変化などがあります。
- 症状は低温で悪化することがあります。低温の環境で本製品を操作する際は、暖かい衣服を着用し、手を暖かくして乾燥させてください。
- 取扱説明書の記載に従って本製品をメンテナンスおよび操作し、適切な振動レベルを維持してください。
- 本製品には、ハンドルから作業者への振動を軽減する防振装置が装備されています。本製品の作業性能を発揮させるため、本製品には力をかけて押さないでください。本製品のハンドルを軽く持ち、本製品を制御して安全に操作してください。必要以上にハンドルをエンドストップに押し込まないでください。
- ハンドルのみを掴んで操作してください。他のすべての身体部分は本製品から離してください。
- 強い振動が突然発生した場合は、直ちに本製品を停止してください。振動が増加した原因を解消するまで、操作を続行しないでください。
- 大理石や硬いコンクリートを切断する場合は、柔らかいコンクリートを切断する場合よりも振動が大きくなります。刃先が丸くなっていたり、欠陥があったり、タイプが正しくない、または目立てが不適切なCutting装置を使用すると、振動レベルが高くなります。

排気ガスの安全性



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- エンジンの排気ガスには、無臭で有毒な危険性の高いガスである一酸化炭素が含まれます。一酸化炭素を呼吸すると、死亡するおそれがあります。一酸化炭素は無臭で見えないため、感知できません。一酸化炭素中毒の症状はめまいですが、一酸化炭素の量

や濃度が十分な場合は、前兆がなくとも意識不明になる可能性があります。

- 排気ガスには、ベンゼンを含む未燃焼の炭化水素が含まれています。長時間にわたって吸引すると、健康障害を引き起こす場合があります。
- 目に見えるかまたは臭いがする排気ガスには一酸化炭素も含まれています。
- 室内、または十分な空気の流れのない場所では、燃焼機関を搭載した製品を使用しないでください。
- 排気ガスを吸わないようにしてください。
- 作業エリアの通気が十分であることを確認します。排気ガスが容易に集まる溝などの小さな作業エリアで本製品を操作する場合は、この点が非常に重要です。

粉塵の安全性



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品を操作すると、空気中に粉塵が発生する可能性があります。粉塵は、重大な傷害や恒久的な健康問題の原因となることがあります。シリカ粉塵は、複数の機関によって有害物質として規制されています。以下は、このような健康上の問題の例です。
 - 致命的な肺炎慢性気管支炎、珪肺症、肺線維症
 - がん
 - 出生異常
 - 皮膚の炎症
- 適切な機器を使用して、空気中の粉塵や煙を減らし、作業機器、表面、衣服、および体の部位の粉塵を低減してください。制御の例としては、粉塵収集システムや、水の噴霧による粉塵の収集などがあります。可能な限り、発生する粉塵を減らしてください。装置が正しく設置および使用されていること、および定期的なメンテナンスが実施されていることを確認してください。
- 認可された呼吸器保護具を使用してください。作業エリアの危険物に対して呼吸保護具を使用していることを確認してください。
- 作業エリアに十分な通気があることを確認してください。
- 可能であれば、粉塵が空気に放出されない場所に製品の排気口を向けます。

使用者の身体保護具



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 作業中は、必ず認可された身体保護具を着用してください。身体保護具で負傷の危険性をなくすことができるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合でも、負傷の程度を軽減できます。プロテクティブ装具の選択については、サービス代理店にご相談ください。
- 認可された保護ヘルメットを使用してください。

- 認可されたイヤマフを使用してください。長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら、速やかにイヤマフを外してください。
- 認可された保護メガネを使用し、飛散物に当たって負傷する危険を軽減してください。防護マスクを使用する場合、認可された保護ゴーグルも着用する必要があります。認可された保護ゴーグルは、米国の ANSI Z87.1 あるいは EU 諸国の EN 166 規格に適合していなければなりません。バイザーは、EN 1731 規格に適合していなければなりません。
- 丈夫な作業用手袋を着用してください。
- 認可された呼吸器保護具を使用してください。材料の切断、粉砕、穴あけ、サンディング、形成を行う機械を使用すると、人体にとって危険な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が生成されることがあります。加工する素材の性質を確認して、適切な呼吸マスクを使用してください。
- 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な作業服を着用してください。切断の際には火花が発生し、衣服に着火することがあります。HUSQVARNA は、防火綿または厚地のデニムを着ることを推奨します。ナイロン、ポリエステル、レーヨンなどの材質の衣服は着用しないでください。このような材質が発火した場合、溶けて肌にはりつく場合があります。短パンは着用しないでください。
- つま先部スチール製、ノンスリップ靴底のブーツを着用してください。
- 常に救急キットを近くに用意してください。



- 火花はマフラーまたはカッティングブレードから発生します。常に消火器を使用できる状態にしておいてください。

本製品の安全装置



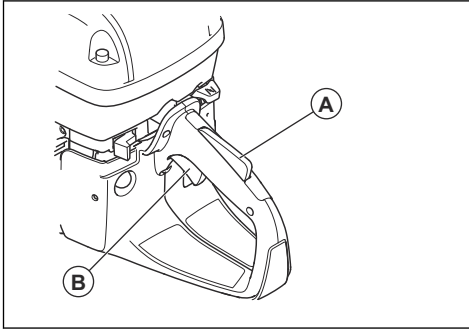
警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 損傷している、または正しく動作していない安全装置を取り付けた状態で、製品を使用しないでください。
- 安全装置は定期的に点検してください。安全装置が損傷している、または正しく動作していない場合は、HUSQVARNA 認定サービス代理店にお問い合わせください。

- 安全装置を改造しないでください。
- 保護プレートや保護カバー、安全スイッチ、その他の保護装置に損傷がある、または取り付けられていないときは、本製品を使用しないでください。

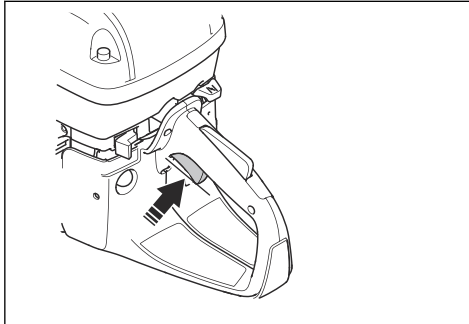
スロットルトリガーロック

スロットルトリガーロックは、スロットルトリガーの操作ミスを防ぐためのものです。ハンドルを握って、スロットルトリガーロック (A) を押すと、スロットルトリガー (B) が解除されます。ハンドルから手を放すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックは元の位置に戻ります。この機能により、スロットルトリガーがアイドリング速度でロックされます。

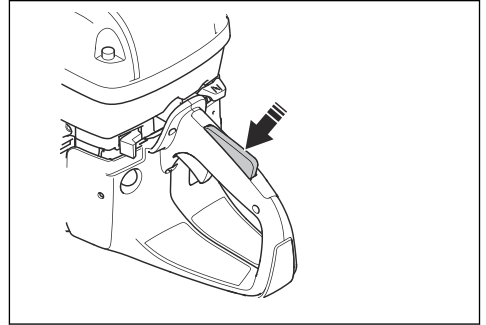


スロットルトリガーロックの点検

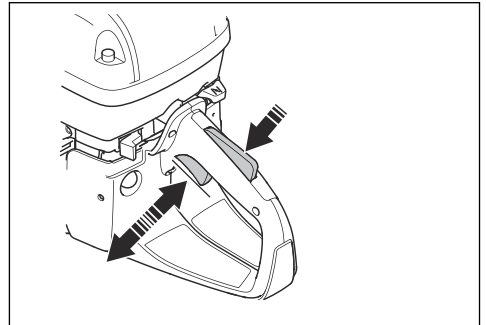
1. スロットルトリガーロックを放したとき、スロットルトリガーがアイドリングの位置にロックされていることを確認します。



2. スロットルトリガーロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



3. スロットルトリガーとスロットルトリガーロックがスムーズに動き、リターン springs が正しく機能することを確認します。

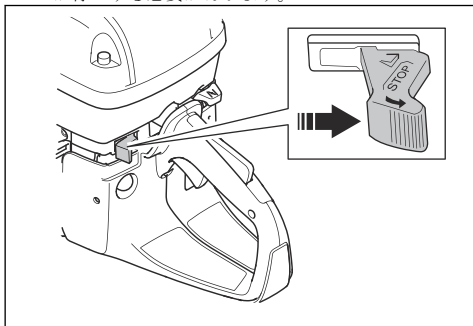


4. 本製品を始動し、フルスロットルにします。
5. スロットルコントロールを放し、カッティングブレードが停止して静止状態が保たれていることを確認します。
6. カッティングブレードがアイドリング位置で回転する場合は、アイドリング速度を調整してください。
*To adjust the idle speed*30 ページを参照してください。

停止スイッチの点検

1. エンジンを開始します。 *To start the product with a cold engine* 19 ページを参照してください。

2. 停止スイッチを押して STOP 位置にします。エンジンが停止する必要があります。

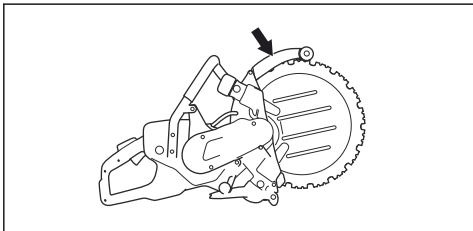


ブレードガード



警告： 本製品を始動する前に、ブレードガードが正しく取り付けられていることを確認します。ブレードガードがない、不具合がある、またはひびがある場合は、本製品を使用しないでください。

ブレードガードは、カuttingブレードの上に設置します。ブレードガードは、ブレードや切断物の一部が作業者の方向に飛んだ場合に、怪我を防止します。



ブレードとブレードガードの検査

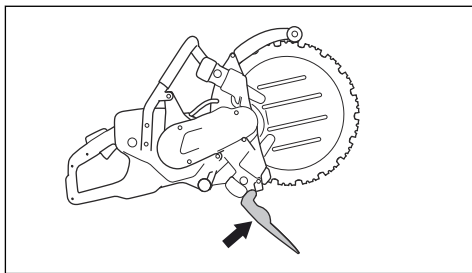


警告： Cuttingブレードが損傷していると、負傷の原因になります。

1. Cuttingブレードが正しく取り付けられ、損傷の兆候がないことを確認してください。
2. ブレードガードにひびがなく、損傷していないことを確認してください。
3. 損傷している場合は、ブレードガードを交換します。

スプレーガード

スプレーガードは、作業者の方に水が噴き出すのを防ぎます。また、切断物の破片が作業者に向かって飛んだ場合の怪我防止にもなります。



スプレーガードの点検



警告： スプレーガードが損傷していると、負傷の原因になります。

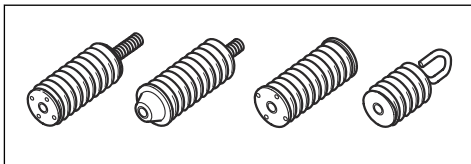
1. スプレーガードが正しく取り付けられ、損傷の兆候がないことを確認してください。
2. スプレーガードにひびがなく、損傷していないことを確認してください。
3. 損傷している場合は、スプレーガードを交換してください。

防振装置



警告： 循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ビリビリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手、手首に現れます。この症状は低温の環境下でよく起こります。

本製品には防振装置がついており、振動を軽減し、操作しやすいようになっています。本製品の防振装置は、エンジンユニットやCutting装置とハンドル間での振動の伝播を軽減します。



花崗岩や硬質コンクリートを切断するとき、軟質コンクリート切断時より振動が激しくなります。刃先が丸くなっていたりソーチェンに不具合（不適なタイプや自立が悪いなど）があったりする場合も、振動が大きくなります。

防振装置の点検



警告： エンジンが停止し、停止スイッチが STOP 位置にあることを確認します。

1. 防振ユニットに亀裂や変形がないことを確認してください。防振ユニットが損傷している場合は交換してください。
2. 防振ユニットがエンジンユニットとハンドルユニットに正しく固定されていることを確認します。

マフラー



警告： マフラーは、操作の前後およびアイドリング速度時に非常に高温になります。火災の危険があるため、可燃性物質や煙の近くで製品を操作する場合は、特に注意してください。



警告： マフラーがない、または損傷している場合は、本製品を使用しないでください。マフラーがない、または損傷している場合は、騒音レベルと火災発生の危険性が高くなります。手元に消火器を用意してください。お住まいの地域でスパークアレスターマッシュの使用が義務付けられている場合は、スパークアレスターマッシュなしで本製品を使用したり、破損したスパークアレスターマッシュを使用したりしないでください。

マフラーは騒音レベルを最小限に抑え、排気ガスを作業者から遠ざける働きをします。高温で乾燥した地域では、火災の危険性が高くなります。現地の法規制およびメンテナンス手順に従ってください。

マフラーの点検方法

- マフラーを定期的に点検して、正しく取り付けられているか、損傷していないかを確認してください。

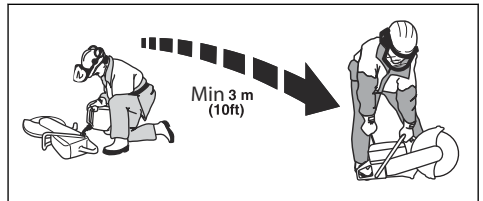
燃料の安全について



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 燃料は可燃性があり、煙は爆発性があります。怪我、火災、爆発を防ぐために燃料に注意してください。
- 必ず空気の流れが十分な屋外で本製品を給油してください。気化した燃料を吸い込まないようにしてください。気化した燃料は有害であり、負傷、火災、爆発を引き起こすおそれがあります。
- エンジンの稼働中は燃料タンクのキャップを外したり、燃料タンクに燃料を充填したりしないでください。
- エンジンが冷却してから燃料を充填してください。
- 燃料やエンジンのそばで喫煙しないでください。

- 燃料やエンジンのそばに熱い物を置かないでください。
- 火花や炎の近くで燃料を充填しないでください。
- 燃料を補充する前に、燃料タンクのキャップを開けて慎重に圧力を解放してください。
- 皮膚に燃料が付着すると負傷するおそれがあります。皮膚に燃料が付着した場合は、石鹸と水を使用して燃料を洗い流してください。
- 衣服にガソリンをこぼした場合は、すぐに着替えてください。
- 燃料タンクキャップを完全に締め込んでください。燃料タンクのキャップが正しく締められていないと、製品の振動によって外れ、燃料や気化した燃料が漏れる可能性があります。燃料や気化した燃料は火災の危険性があります。
- 製品を始動する前に、給油した場所から 3 m/10 フィート以上離れた位置に製品を移動してください。



- 本製品にこぼれた燃料やオイルが付着している場合は、始動しないでください。エンジンを始動する前に、不要な燃料とオイルを取り除き、製品を乾燥させてください。
- エンジンに漏れがないかどうかは定期的に点検してください。燃料システムに漏れがある場合、漏れを修復するまでエンジンを始動しないでください。
- 燃料は認定された容器に保管してください。
- 本製品と燃料を保管する際は、燃料や気化した燃料による損傷、火災、爆発を防止してください。
- 燃料は、屋外にて、品質認証された容器に排出して、火花や炎から遠ざけるようにします。

メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- エンジンが停止し、停止スイッチが STOP 位置にあることを確認します。
- 身体保護具を使用してください。使用者の身体保護具 6 ページを参照してください。
- メンテナンスが正しく定期的には実施されていない場合は、負傷や本製品の損傷の危険性が高まります。
- 取扱説明書に記載されているメンテナンスのみを実施してください。その他のすべての保守作業は、認定サービスセンターに依頼してください。
- HUSQVARNA の認証サービス代理店で定期的に本製品のサービス作業を実施する必要があります。
- 損傷、摩耗、破損した部品は交換してください。
- 常に純正の部品をお使いください。

組立

カッティングブレード



警告： 本製品を組み立てるときは、必ず保護グローブを着用してください。



警告： カッティングブレードが破損して、作業者が怪我をすることがあります。



警告： 使用前と、意図しない物体にぶつかった直後は、カッティングブレードにひび割れ、セグメントの歪み、バランスの崩れがないか点検します。損傷のあるカッティングブレードは使用しないでください。カッティングブレードを点検して取り付けした後、作業もそばにいる人も回転するカッティングブレードの面から離れた位置に立ち、パワーツールを無負荷の最高速度で1分間運転します。



警告： カッティングブレードのメーカーは、カッティングブレードの操作と正しい手入れに関する警告と推奨事項を公表しています。これらの警告はカッティングブレードと共に提供されます。カッティングブレードに付属している手順書を読み、指示に従ってください。

Water cooling system



警告： Make sure to cool the diamond blades with water to prevent the blades from becoming too hot. Heat can deform the diamond blade which can result in damage to the product and the operator.

Always use water during operation to keep the temperature of the diamond blades down. The water cooling system also increases the lifetime of the diamond blades and prevents dust buildup.

Make sure that the water supply is not clogged.

ダイヤモンドブレード

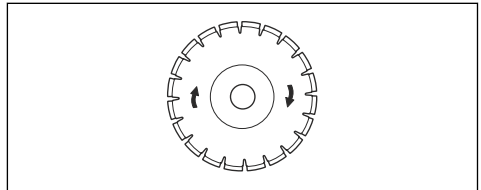


警告： ダイヤモンドブレードは、使用中、非常に熱くなります。ダイヤモンドブレードの温度が高すぎると、性能が低下したり、ブレードが破損したりして、安全上のリスクが生じます。



警告： ダイヤモンドブレードをプラスチック材の切断に使用しないでください。高温のダイヤモンドブレードはプラスチックを溶かすことがあり、キックバックの原因となることがあります。

- ダイヤモンドブレードには、工業用ダイヤモンド製のセグメントを持つ鋼製コアがあります。
- ダイヤモンドブレードは、石材、鉄筋コンクリート、石の切断に用います。
- ダイヤモンドブレードがダイヤモンドブレードに記載されている矢印の方向に回転することを確認します。



- 必ずよく切れる状態のダイヤモンドブレードをお使いください。
- フィード圧が適切でなかったり、強化鉄筋コンクリートなどの材料を切断したりすると、ダイヤモンドブレードが鈍くなる場合があります。鈍くなったダイヤモンドブレードを使用すると、ブレードが過熱し、ダイヤモンド切片が緩む可能性があります。

カッティングブレードを目立てするには

注記： 最適な切断結果を得るには、カッティングブレードを目立てする必要があります。

- ブレードの目立てを行うには、砂岩やれんがのような柔らかい物質を切断してください。

カッティングブレードの振動

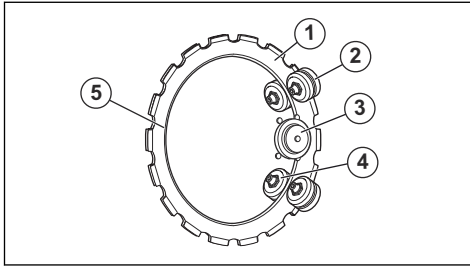


注意： 本製品に力をかけすぎると、カッティングブレードが過熱して曲がり、振動が発生する可能性があります。本製品は適切な力で使用してください。振動が続く場合は、カッティングブレードを交換してください。

リングカッティングブレード



警告： リングカッティングブレードは改造しないでください。改造すると重傷の原因になります。詳しくは、HUSQVARNA 販売店までお問い合わせください。



1. カuttingブレード
2. サポートローラー
3. 駆動ホイール
4. ガイドローラー
5. 内側エッジ

カuttingブレードの取り付け方法



警告： モーターがオフで、電源プラグが取り外されていることを確認してください。



警告： 本製品を組み立てるときは、必ず保護グローブを着用してください。

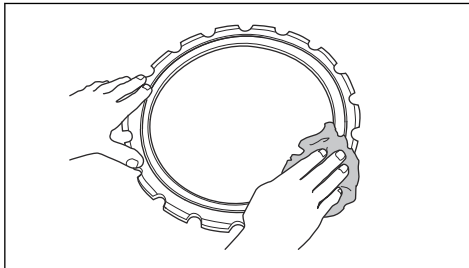


警告： 使用済みのカuttingブレードコアに新しいダイヤモンド切片を取り付けないでください。使用済みのカuttingブレードコアは破損したり割れたりして、作業者が大怪我をするおそれがあります。

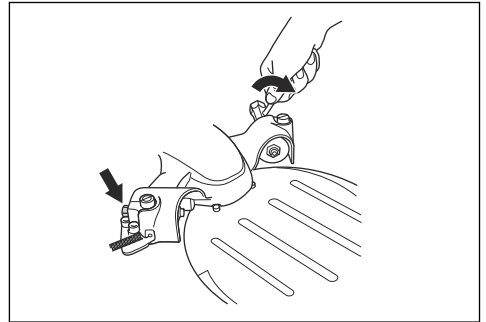


警告： カuttingブレードの状態が良好で、損傷していないことを確認してください。カuttingブレードが損傷していると、大怪我をする原因になります。

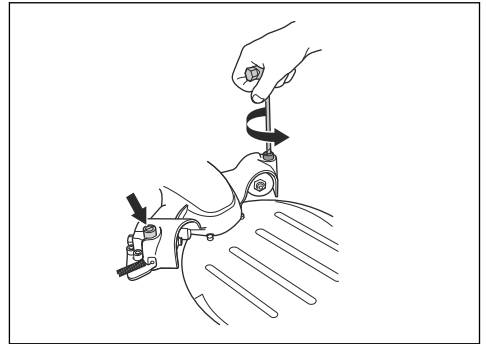
1. カuttingブレードの表面をきれいにします。



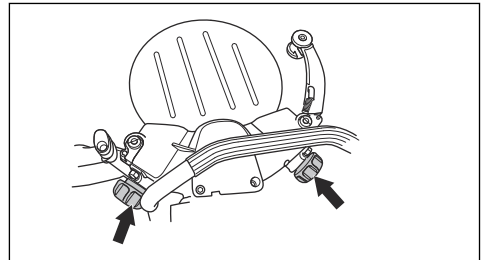
2. サポートローラーガードの2つのロックナットを外します。



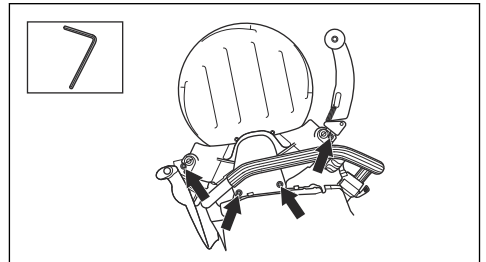
3. 2つの調節ネジを緩めます。



4. 2つのノブを外します。

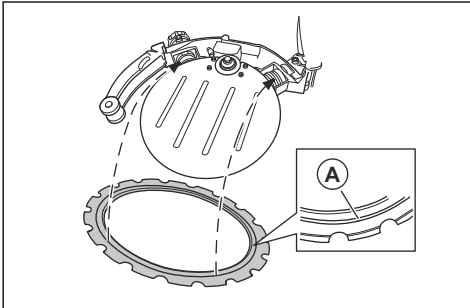


5. 6 mm の六角レンチを使って、サポートローラーガードを固定している4つのネジを外します。

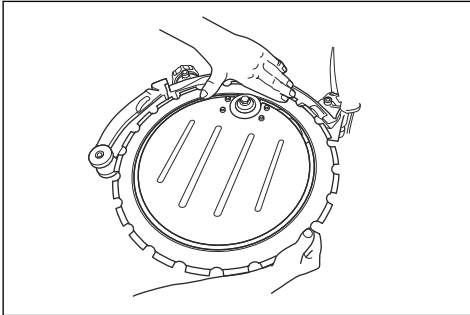


6. サポートローラーガードを取り外します。

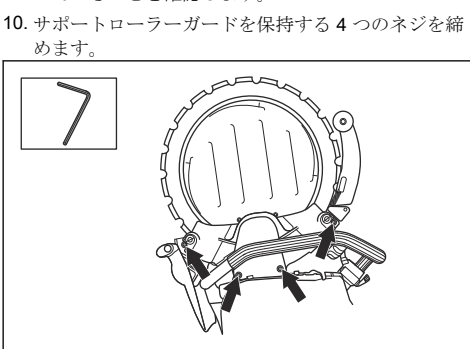
7. カuttingブレードを取り付けます。Cuttingブレードの内側エッジがドライブホイールの溝に入っていることを確認します。ガイドローラーがCuttingブレードの溝 (A) に入っていることを確認します。リングCuttingブレード 10 ページを参照してください。



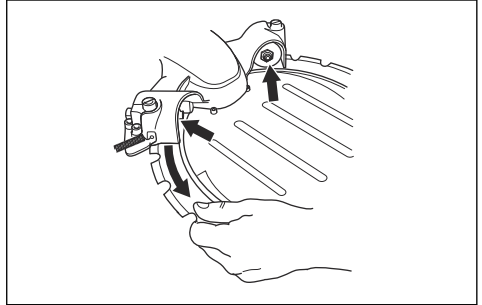
8. 必要に応じて、ガイドローラーを所定の位置に押し込みます。



9. サポートローラーガードを取り付けます。ガイドローラーのフランジがCuttingブレードの溝に入っていることを確認します。

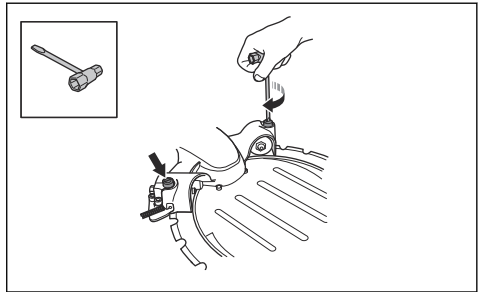


11. Cuttingブレードを手で回します。サポートローラーがCuttingブレードから脱線しないことを確認します。



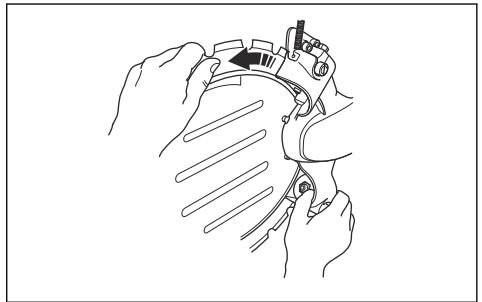
12. 本製品を立位にします。

13. サポートローラーがCuttingブレードに接触するまで2つの調節ネジで調節します。

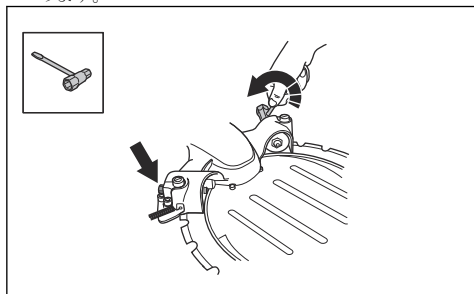


注意： 本製品を横倒ししている場合はサポートローラーを調節しないでください。調節が不正確になり、Cuttingブレードが損傷することがあります。

14. Cuttingブレードが回転しているときサポートローラーを親指で停止できることを確認します。

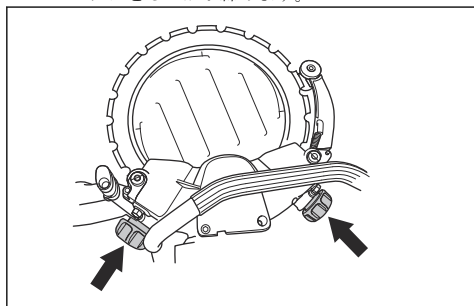


15. サポートローラーガードの2つのロックナットを締めます。

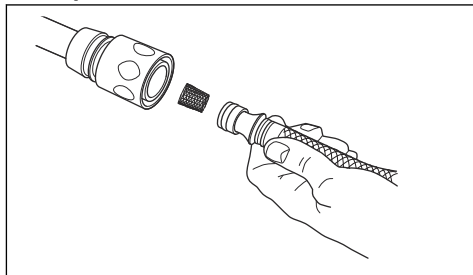


16. カuttingブレードが回転しているときサポートローラーを親指で停止できることを確認します。

17. 2つのノブをしっかり締めます。

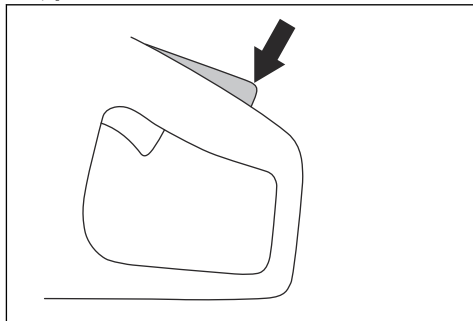


1. 水ホースを水供給部分に接続します。水流の下限については、*Technical data33* ページを参照してください。

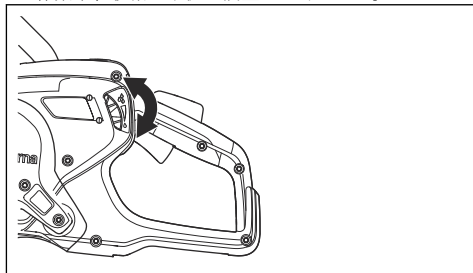


注記： 本製品のホースニップルにはフィルターが付属します。

2. パワートリガーロックを押して、水バルブを開きます。



3. 作業中、親指で水流を調整してください。



水供給部の接続方法



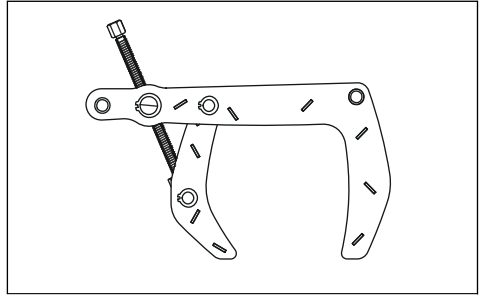
警告： 本製品を操作するときは、必ず水を使用してください。乾いたまま切断すると、過熱して本製品やカuttingブレードが損傷します。重傷を負う危険があります。



注意： 切削時にカuttingブレードのコアとセグメントの温度を低く維持するため、適切な水圧を使用してください。水ホースが供給源で外れる場合は、供給水の圧力が高すぎる可能性があります。

パイプクランプ

パイプクランプは本製品のアクセサリーです。コンクリートパイプをまっすぐ正確に切断するために使用します。



Operation (操作)

はじめに



警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

キックバック

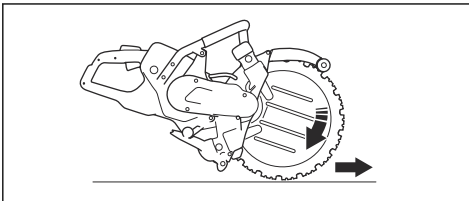


警告： キックバックは突然発生し、非常に危険な場合があります。パワーカッターが作業者に向かって回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。本製品の使用前に、キックバックの原因と回避方法を理解することが非常に大切です。

キックバックとは、ブレードがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりしたときに、パワーカッターが突然、上へ持ち上げられる現象です。ほとんどのキックバックは小規模で、それほど危険を伴わないものです。しかしながら、キックバックは非常に危険な挙動を発生させることがあり、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することもあります。

反作用力

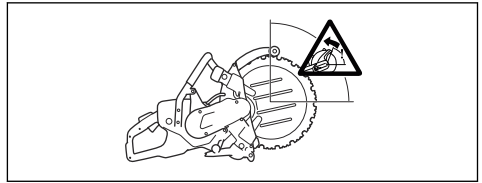
切断時は、反作用力が常に存在します。この力は、ブレード回転に対して逆の方向へ本製品を引っ張るように働きます。通常、この力は問題にはなりません。ブレードが挟まったり、引っかかったりすると、反作用力が強力になり、パワーカッターをコントロールできなくなることがあります。



カッティング装置を回転させたまま、本製品を移動しないでください。ジャイロ力により、意図した動きが阻害される場合があります。

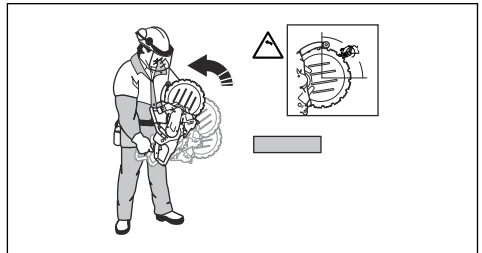
キックバックゾーン

ブレードのキックバックゾーンを切断に使用しないでください。ブレードのキックバックゾーンが挟まったり、引っかかったりすると、反作用力により、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することがあります。



回転キックバック

回転キックバックは、カッティングブレードがキックバックゾーン内で自由に動かない場合に発生します。



クライミングキックバック

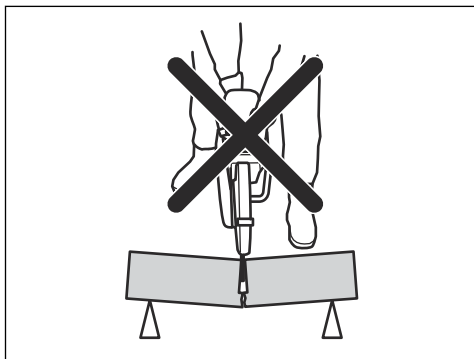
キックバックゾーンで切断を行うと、反作用力によってブレードが切断箇所から持ち上がります。キックバックゾーンを使用しないでください。クライミングキックバ

ックを回避するために、ブレードの下部、四分の一を使用してください。



ピンチングキックバック

ピンチングとは、切断部が閉じて、ブレードを挟んでしまうことです。ブレードが挟まったり、引っかかったりすると、反作用力は強力になり、パワーカッターをコントロールできなくなることがあります。



ブレードのキックバックゾーンが挟まったり、引っかかったりすると、反作用力により、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することがあります。作業対象物が動く可能性があるため、注意してください。作業対象物がしっかりと保持されておらず、切断時に動くと、ブレードが挟まり、キックバックの原因になる可能性があります。

パイプの切断

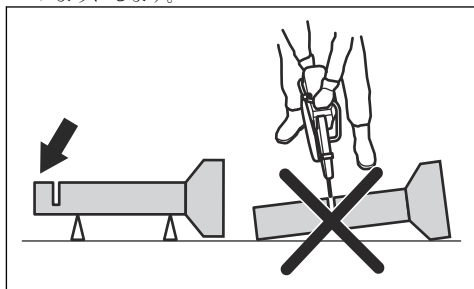


警告： ブレードがキックバックゾーンで挟まり、危険なキックバックが発生することがあります。

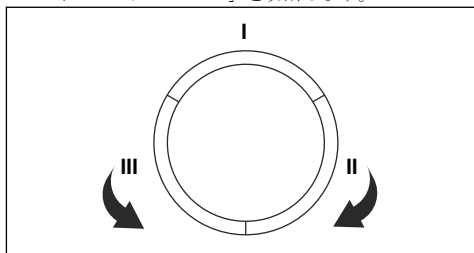
パイプを切断する場合、特に注意すべきことがあります。パイプが適切に支持されておらず、切断中に切断箇所が閉じた場合、ブレードが挟まるおそれがあります。先端が鐘型に広がったパイプや、トレンチに入っていてしっかりと保持されていないために、たわんでブレードが挟まる可能性のあるパイプを切断するときは、特に注意してください。

パイプがたわんで切削部が閉じると、キックバックゾーンでブレードが挟まれ、激しいキックバックが起きる可能性があります。パイプがしっかりと保持されていれば、パイプの端が下に動くことで切断部が開き、挟まれることはありません。

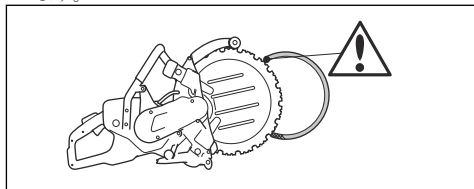
1. パイプを固定して、切断中に動いたり回ったりしないようにします。



2. パイプのセクション「I」を切断します。



3. 挟まらないように切断部が開いていることを確認します。



4. サイドIIに移動して、セクションIからパイプの底部まで切断します。
5. サイドIIIに移動して、底部のパイプの端部の残りの部分を切断します。

キックバックを防ぐには



警告： キックバックが起りやすい状況を避けてください。パワーカッターを使用するときは、ブレードのキックバックゾーンが挟まれないように注意してください。



警告： 既存の切断部にブレードを入れるときは、注意してください。

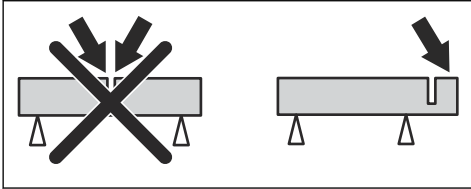


警告： 切断作業中に切削物が動かないことを確認してください。



警告： 使用者が正しい操作方法で使用する場合にのみ、キックバックとその危険性を防ぐことができます。

- 完全に切断するときは、切断部が開いたままになるように、切削物を必ず支持してください。切断部が開いていれば、キックバックは発生しません。切断部が閉じてブレードが挟まると、キックバックの危険性があります。



基本的な作業方法



警告： 本製品を一方方向に寄せないでください。カッティングブレードの自由な動きの妨げになります。カッティングブレードが破損して、作業者や付近にいる人が怪我をするおそれがあります。



警告： カッティングブレードの側面を使用しないでください。カッティングブレードが破損して、作業者や付近にいる人が怪我をするおそれがあります。カッティングエッジのみを使用してください。



警告： カッティングブレードが正しく取り付けられていて、損傷の兆候がないことを確認します。



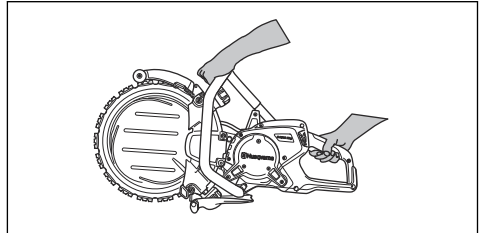
警告： 他のブレードによる既存の切れ目を切断する前に、ブレードの幅が切れ目より狭いことを確認してください。切れ目に食い込み、キックバックするおそれがあります。



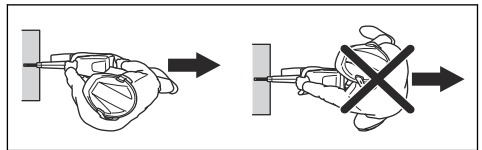
警告： 金属の切断は、火災の原因となる火花を発生させます。可燃性の物質やガスの近くで本製品を使用しないでください。

- 本製品は、高速の手持ち式製品用に作られたダイヤモンドブレードでの切断用に作られています。本製品に他の種類のブレードを装着して使用しないでください。また、用途外の作業には使用しないでください。

- 切断する材料に適したカッティングブレードを必ず使用してください。手順については、「カッティングブレード10ページ」を参照してください。
- アスベスト材を切削しないでください。
- モーターの動作中は、カッティングブレードから安全な距離を保ってください。回転しているブレードを体の一部を使って止めようとしないでください。モーターが停止していても、回転しているブレードに触れると、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。
- 作業エリアに許可なく人が立ち入らないようにしてください。
- カッティングブレードは、パワートリガーを放しても、少しの間回転を続けます。本製品を移動する、または本製品を置く前に、カッティングブレードが停止していることを確認してください。カッティングブレードをただちに停止する必要がある場合は、カッティングブレードを硬い面に軽く接触させてください。
- モーターをかけたまま本製品を移動しないでください。
- 本製品は両手で持ってください。親指と他の指で絶縁されたプラスチックハンドルの周囲を十分に握り、本製品をしつかりと固定します。右手でリヤハンドル、左手でフロントハンドルを握ってください。すべての使用者がこの保持部分を使用してください。パワーカッターは片手だけで操作しないでください。

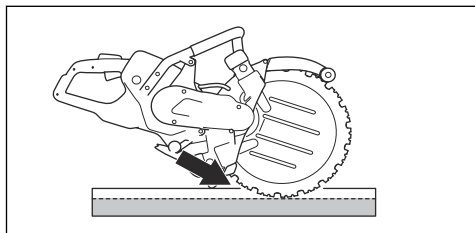


- 安全な位置を確保して、カッティングブレードが自由に動くことを確認してください。
- カッティングブレードに対して平行に立ちます。本機の後後ろに立たないようにしてください。キックバックが発生した場合、ソーはカッティングブレードの水平面方向に動きます。

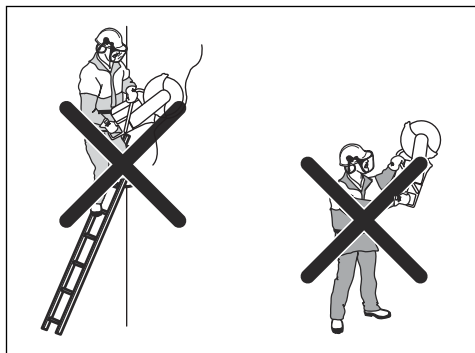


- モーターをオンにしたまま本製品から離れないでください。本製品から離れる前に、モーターを停止し、誤って始動する危険がないことを確認してください。
- ブレードガードの調整ハンドルを使用して、ガードの後部が切断対象物と同一面になるように調整します。ガードは切断材料から切りくずや火花が飛び散るのを防ぎ、使用者を保護します。本製品の運転時

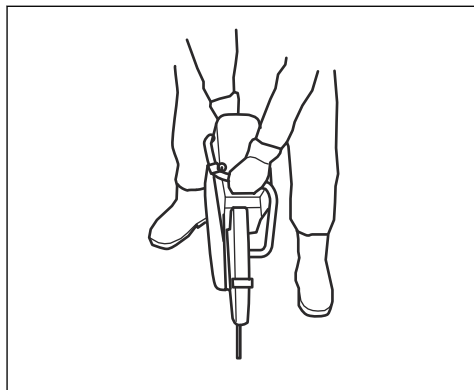
には、カッティング装置のガードを必ず取り付けてください。



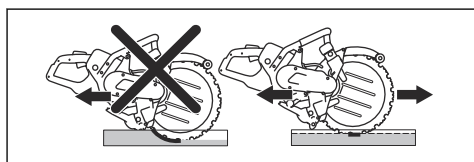
- ブレードのキックバックゾーンを切断に使用しないでください。手順については、「キックバックゾーン 14 ページ」を参照してください。
- 作業エリアに障害物がなく、足と身体を安定した位置にするまでは、本製品を操作しないでください。
- 肩より上の高さで切断を行わないでください。
- はしごの上で切断を行わないでください。肩より高い位置で切断する場合は、台や足場を利用してください。無理な体勢で作業しないでください。



- 切断対象物からほどよい距離を保って下さい。
- モーターを始動する時にカッティングブレードが自由に動くことを確認してください。
- 回転数が高いとき（フルパワーのとき）は、カッティングブレードを慎重に当ててください。切断が完了するまで最高速度を維持してください。
- 本製品の作業性能を発揮させるため、カッティングブレードを押さないでください。
- ブレードが対象物に垂直に当たるように、本製品をまっすぐに下ろします。横からの圧力が加わると、ブレードが損傷し、非常に危険です。



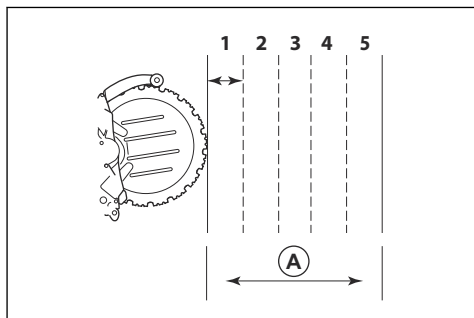
- ブレードを前後にゆっくり動かして、ブレードと切断材料の接触面が小さくなるようにします。これによってブレードの温度が低下し、効率的に切断できます。



切断の深さ

この製品は、最大 325 mm/12.8 インチの深さ (A) まで切断できます。

直接最後まで切断すると、切断が終わるまでの時間が長くなります。深さが 325 mm/12.8 インチになるまで 4 ~ 5 回に分けて切断した方が、切断が速く終わります。



まっすぐに切断する方法

1. 切断するラインに沿って、まっすぐな長尺物をサポートとして取り付けます。
2. 最良の結果を得るには、まず HUSQVARNA 専用プレカットブレード付きのパワーカッターで切断します。



警告： この予備切断には、標準カッティングブレードを使用しないでください。標準カッティングブレードによる溝切断は浅すぎます。その後でリングカッティングブレードで切断すると、スロットが薄すぎるためにリングカッティングブレードがキックバックして挟まり危険です。

3. 切断部全長を 2 ~ 3 cm (0.79 ~ 1.18 インチ) の深さまで切断します。カッティングブレードをサポートに当てておくとまっすぐに切断できます。
4. 切断部からカッティングブレードを持ち上げます。
5. 切断部の開始位置に戻り、切断部が全長にわたって 5 ~ 10 cm (1.97 ~ 3.94 インチ) の深さになるまで再度、2 ~ 3 cm (0.79 ~ 1.18 インチ) の深さで切断します。
6. 必要な深さになるまで切断し続けます。

穴を開ける

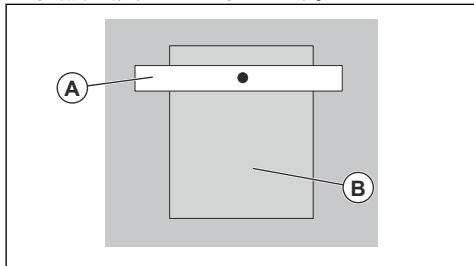


警告： 切断するとき大きな切断片が作業者や本製品に落下しないよう注意してください。

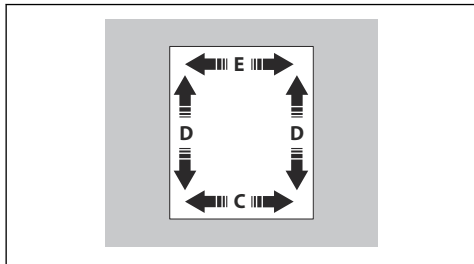


注意： 切断を誤った順序で行なうと、切断片が落下して本製品が損傷する場合があります。必ず下側を水平切断してから上側を水平切断してください。

1. 切断する部分 (B) にサポート (A) を添え付けて、切断片が落下ないようにします。



2. 下側を水平方向に切断します (C)。

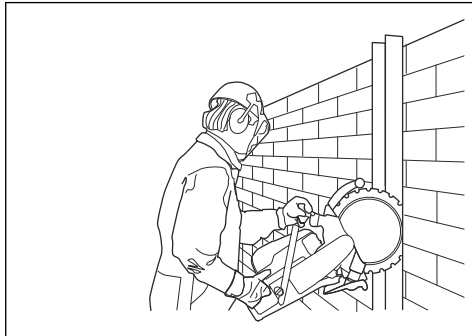


3. 垂直方向に 2 回切断します (D)。
4. 上側を水平方向に切断します (E)。

長い作業物の切断

切断部が 1 m (39.4 インチ) 以上の場合は、この手順で行ないます。

1. 切断するラインに沿って、まっすぐな長尺物をサポートとして取り付けます。



2. 切断部全長を 50 ~ 70 mm (2 ~ 3 インチ) の深さまで切断します。カッティングブレードをサポートに当てておくとまっすぐに切断できます。
3. サポートを外します。
4. 十分な深さになるまで、最初の切り込みに沿って切断を続けます。

短い作業物の切断

切断が 1 m (39.4 インチ) 未満の場合は、この手順で行ないます。

1. 切断部全長を 50 ~ 70 mm (2 ~ 3 インチ) の深さまで切断します。
2. 十分な深さになるまで、最初の切り込みに沿って切断を続けます。

燃料

本製品には 2 サイクルエンジンが搭載されています。



注意： 誤った種類の燃料を充填すると、エンジンが損傷する可能性があります。ガソリンと 2 サイクルエンジンオイルの混合燃料を使用してください。

2 サイクルエンジンオイル

- 最適な結果を得るには、HUSQVARNA 2 ストロークオイルを使用してください。
- HUSQVARNA 2 サイクルエンジンオイルが入手できない場合は、空冷エンジン用に調合された市販の高品質 2 サイクルオイルを使用してください。適切なオイルの選択については、サービス代理店にお問い合わせください。



注意：アウトボードオイルとも呼ばれる水冷式船外機用の2サイクルエンジンオイルは、使用しないでください。4サイクルエンジンオイルは使用しないでください。

混合済み燃料

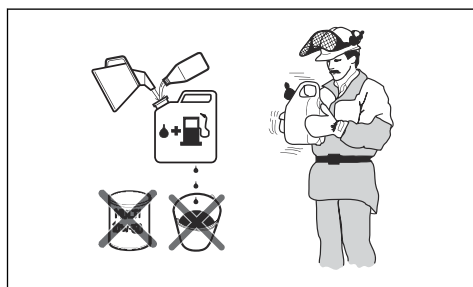
- HUSQVARNA の混合済みアルキレート燃料を使用することにより、最高の性能を保ちながらエンジンの寿命を延ばすことができます。この燃料は、標準的な燃料に比べて有害物質が少なく、有害な排気ガスの排出を低減します。この燃料は燃焼後の残留物が少ないため、エンジンの部品を清潔に保つことができます。

ガソリンと2サイクルエンジンオイルの混合方法

ガソリン、リットル	2サイクルエンジンオイル、リットル
	2% (50:1)
5	0.10
10	0.20
15	0.30
20	0.40
US ガロン	US 液量オンス
1	2 ½
2 1/2	6 ½
5	12 ¾



注意：少量の燃料を混合する場合、わずかな誤差が混合比率に大きく影響します。オイル量を慎重に計量し、正しい混合比率にしてください。



1. 汚れない燃料用容器に半分の量のガソリンを注ぎます。

2. 全量のオイルを追加します。
3. 燃料混合物を混ぜ合わせます。
4. 残りのガソリンを容器に加ええます。
5. 燃料混合物を慎重に混ぜ合わせます。



注意：1か月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。

燃料の充填方法



注意：オクタン価が90 RON (87 AKI) 未満のガソリンは使用しないでください。本製品が損傷します。

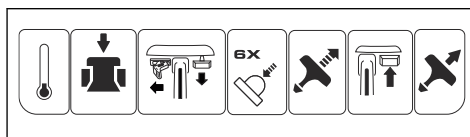


注意：エタノール濃度が10% (E10) を超えるガソリンは使用しないでください。本製品が損傷します。

注記：燃料の種類を変更した場合は、キャブレターの調整が必要となる場合があります。

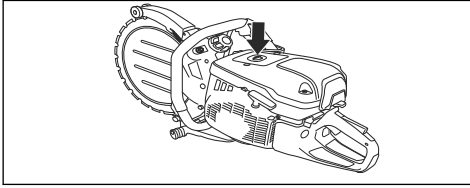
- 本製品を継続的に高速なエンジン速度で使用することが頻繁な場合は、オクタン価の高いガソリンを使用してください。
1. 燃料タンクキャップをゆっくりと開いて、圧力を解放します。
 2. 燃料缶を使用してゆっくり補充してください。燃料をこぼした場合は、布で拭き取り、残った燃料を乾燥させてください。
 3. 燃料タンクキャップの周囲をきれいにしてください。
 4. 燃料タンクキャップを完全に締め込んでください。燃料タンクキャップが締め込まれていない場合、火災発生の危険があります。
 5. 始動する前に燃料を入れた場所から本製品を3 m (10 フィート) 以上移動させてください。

To start the product with a cold engine

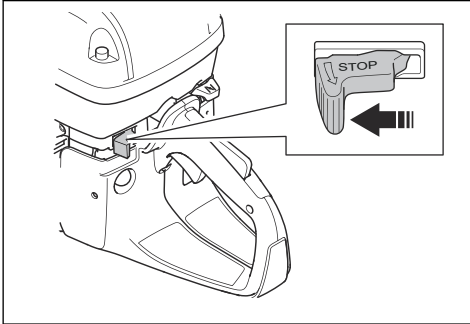


警告： Make sure that the cutting blade can rotate freely. It starts to rotate when the engine starts.

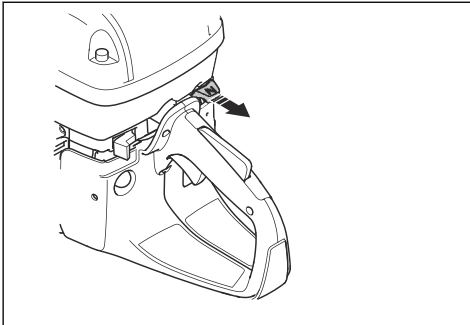
1. Push the decompression valve to decrease the pressure in the cylinder. The decompression valve goes back to its initial position when the product starts.



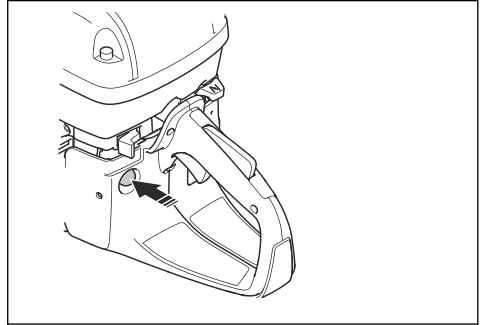
2. Make sure that the STOP switch is in the left position.



3. Pull the choke control fully to get the start throttle position.



4. Push the air purge bulb 6 times until it is fully filled with fuel.

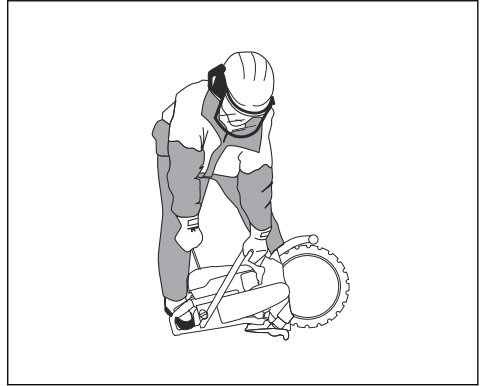


5. Hold the front handle with your left hand.
6. Put your right foot on the lower section of the rear handle to push the product against the ground.



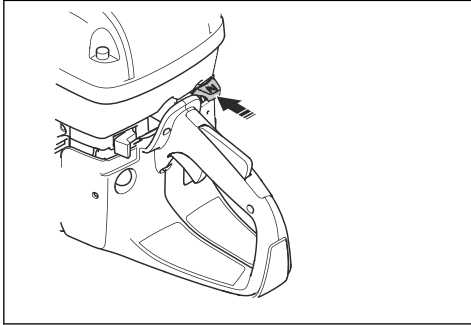
警告： Do not wind the starter rope around your hand.

7. Pull the starter rope slowly with your right hand until you feel a resistance as the starter pawls engage. Then pull continuously and quickly.

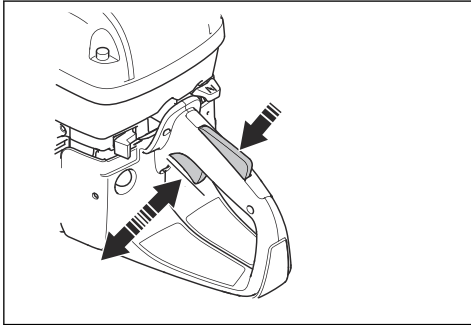


注意： Do not pull the starter rope fully and do not let go of the starter rope handle when the starter rope is extended. This can cause damage to the product.

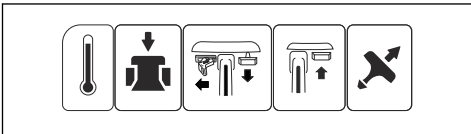
- Push the choke control when the engine starts. If the choke is pulled out, the engine will stop after some seconds. If the engine stops, pull the starter rope handle again.



- Push the throttle trigger to disengage the start throttle and set the product at idle speed.

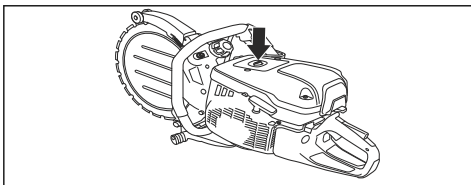


To start the product with a warm engine

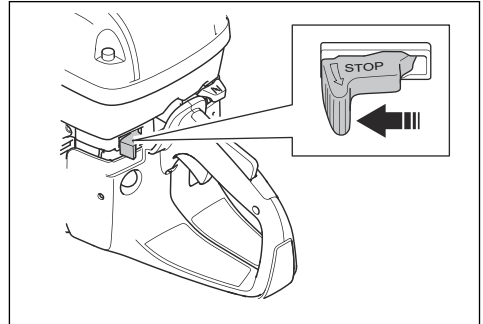


警告： Make sure that the cutting blade can rotate freely. It starts to rotate when the engine starts.

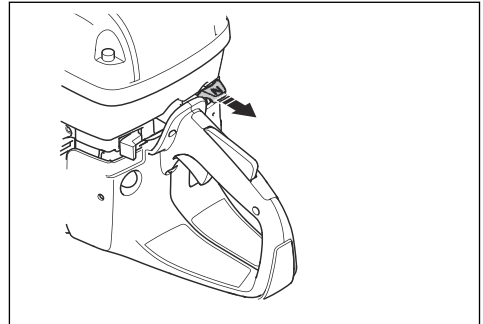
- Push the decompression valve to decrease the pressure in the cylinder. The decompression valve goes back to its initial position when the product starts.



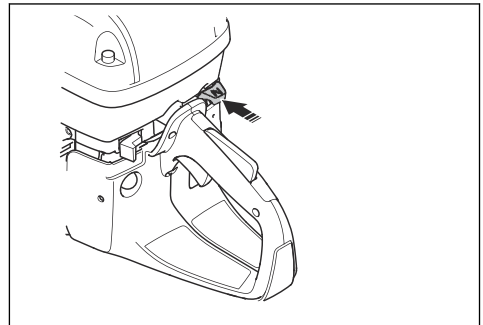
- Make sure that the STOP switch is in the left position.



- Pull the choke control fully to get the start throttle position.



- Push the choke control to disable the choke. The start throttle stays in position.

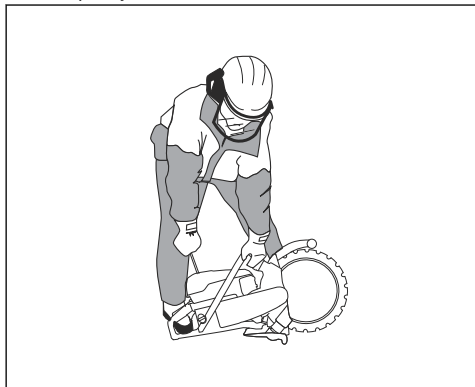


- Hold the front handle with your left hand.
- Put your right foot on the lower section of the rear handle to push the product against the ground.



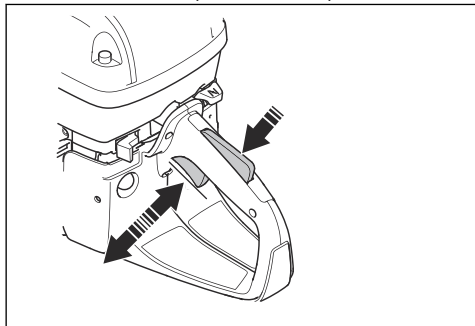
警告： Do not wind the starter rope around your hand.

7. Pull the starter rope slowly until you feel a resistance as the starter pawls engage. Then pull continuously and quickly.



注意： Do not pull the starter rope fully and do not let go of the starter rope handle when the starter rope is extended. This can cause damage to the product.

8. Push the throttle trigger to disengage the start throttle and set the product at idle speed.

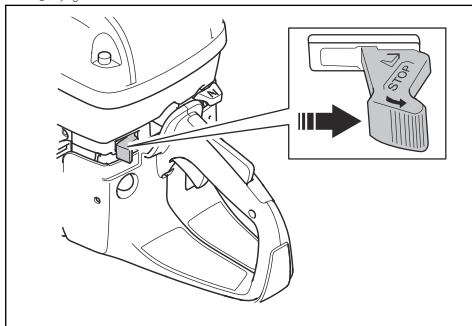


本製品を停止するには



警告： カuttingブレードは、エンジンが停止しても、少しの間回転を続けます。Cuttingブレードは、完全に停止するまでそのまま回転させてください。Cuttingブレードをただちに停止する必要がある場合は、Cuttingブレードを硬い面に軽く接触させてください。重傷を負う危険があります。

- STOP スイッチを右に動かして、エンジンを停止します。



メンテナンス

はじめに



警告： 本製品のメンテナンスを実行する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

本製品のすべての整備と修理作業には、特別な訓練が必要です。プロフェッショナルな修理と整備を提供することを保証します。お客様の販売店がサービス代理店でない場合は、最寄りのサービス代理店に関する情報をお問い合わせください。

い場合は、最寄りのサービス代理店に関する情報をお問い合わせください。

スペアパーツについては、HUSQVARNA の販売店またはサービス代理店にお問い合わせください。

Maintenance schedule

The maintenance schedule shows the necessary maintenance of the product. The intervals are calculated on daily use of the product.

	Daily	Weekly	Monthly	Yearly
Clean	External cleaning		Spark plug	
	Cold air intake		Fuel tank	
Function inspection	General inspection	Vibration damping system*	Fuel system	
	Fuel leaks	Muffler*	Air filter	
	Water delivery system	Drive belt	Clutch	
	Throttle lockout*	Carburetor		
	Stop switch*	Starter housing		
	Blade guards *			
	Diamond blade**			
	Guide rollers			
	Support rollers			
Drive wheel				
Replace				Fuel filter
* Refer to 本製品の安全装置 6 ページ.				
** Refer to カuttingブレード 10 ページ.				

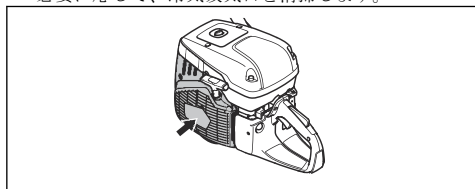
製品の外面を清掃するには

- 毎日の作業後に、製品の外面をきれいな水で洗い流します。必要に応じて、ブラシを使用します。

冷気吸気口の清掃

注記： 冷気吸気口が汚れていたり詰まったりしていると、本製品が加熱します。過熱によりピストンやシリンダーが損傷することがあります。

- 必要に応じて、冷気吸気口を清掃します。



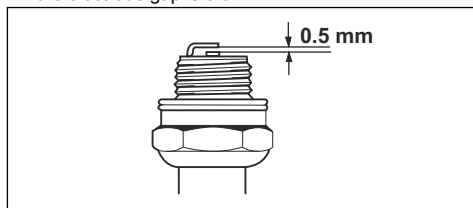
- 詰まり、汚れ、ほこりをブラシで取り除きます。

To do a check of the spark plug



注意： Always use the recommended spark plug type. Use of the incorrect spark plug can cause damage to the piston and cylinder. For recommended spark plug refer to *Technical data33* ページ.

- Examine the spark plug if the product is low on power, does not start easily or if it operates unsatisfactorily at idle speed.
- Make sure that the spark plug cap and ignition cable are not damaged.
- To decrease the risk of unwanted material on the spark plug electrodes, obey these instructions:
 - Make sure that the idle speed is correctly adjusted.
 - Make sure that the fuel mixture is correct.
 - Make sure that the air filter is clean.
- If the spark plug is dirty, clean it and make sure that the electrode gap is 0.5mm.



- Replace the spark plug if it is necessary.

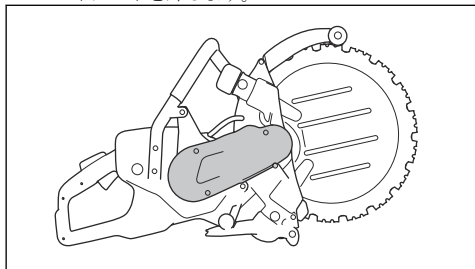
一般点検の実施方法

- 本製品のナットとネジがしっかりと締め込まれていることを確認してください。

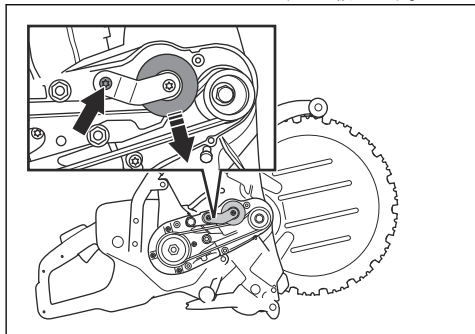
駆動ベルトの張りを調整するには

1 時間作業した後に新しいドライブベルトを締めてください。

1. ベルトガードを外します。



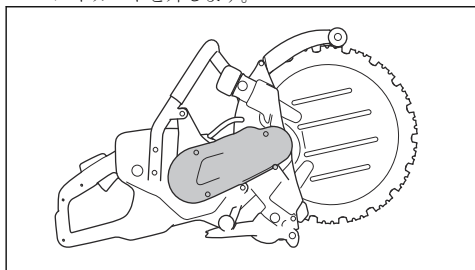
2. ベルトテンションローラーのネジを緩めます。



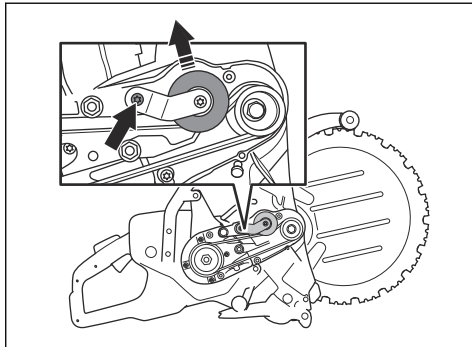
3. ベルトテンションローラーを親指で押し下げたままにして、ドライブベルトをピンと張ります。ベルトテンションローラーのネジを締めます。
4. ベルトガードを取り付けます。

駆動ベルトを交換するには

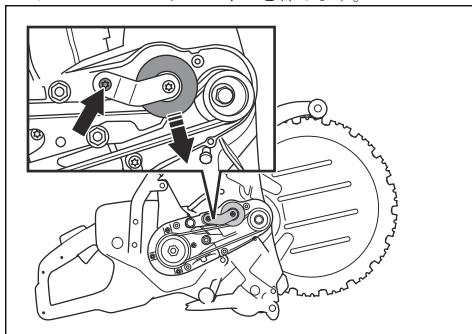
1. ベルトガードを外します。



2. ベルトテンションローラーのネジを緩めます。



3. ベルトテンションローラーを押し上げて、損傷したドライブベルトを取り外します。新しいドライブベルトを取り付けます。ベルトブリーに汚れがなく損傷がないことを確認してから、新しいドライブベルトを取り付けてください。
4. ベルトテンションローラーを親指で押し下げたままにして、ドライブベルトをピンと張ります。ベルトテンションローラーのネジを締めます。



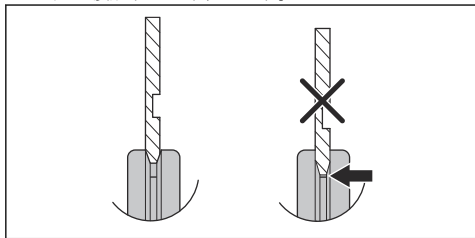
5. ベルトガードを取り付けます。

ドライブホイールの点検



注意： ドライブホイールが摩耗していると、カッティングブレードが損傷するおそれがあります。

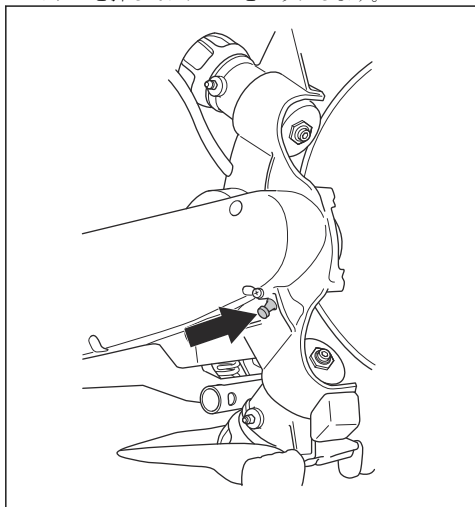
1. ドライブホイールに磨耗がないか調べます。ドライブホイールは、カッティングブレードのエッジが溝の底に接触すると摩耗します。



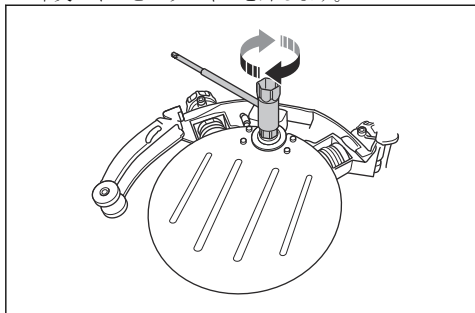
2. ドライブホイールを必要に応じて交換します。

ドライブホイールの交換

1. ボタンを押してアクスルをロックします。



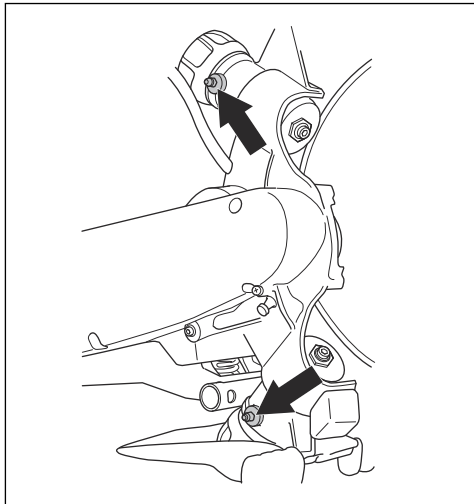
2. 中央のネジとワッシャーを外します。



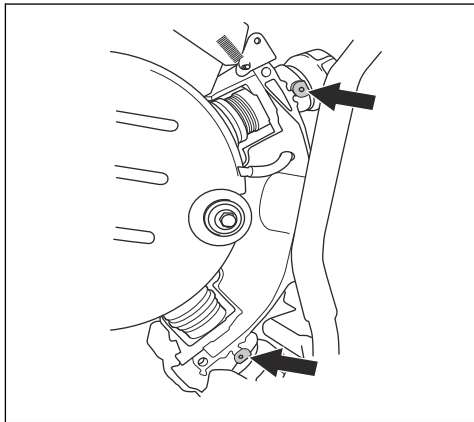
3. ドライブホイールを取り外します。
4. 新しいドライブホイールを逆の手順で取り付けます。

ガイドローラーを潤滑する

1. グリースガンを使用して、グリースニップルにグリースを充填します。



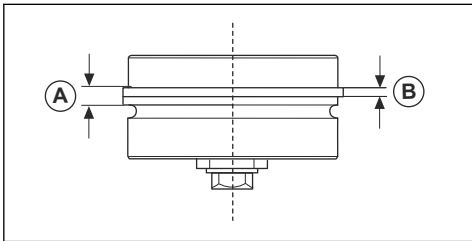
2. 穴からきれいなグリースが出てくるまで、グリースガンで潤滑します。



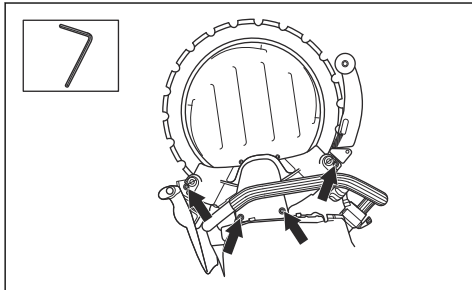
ガイドローラーの交換

ガイドローラーは、カッティングブレードの耐用期間中に2回は検査しなければなりません。カッティングブレードを取り付けた後カッティングブレードが摩耗し始めたときに点検を行ってください。ガイドローラーのフランジの半分が摩耗しているときは、ガイドローラーを交換します。新品のガイドローラーでは、距離 (A)

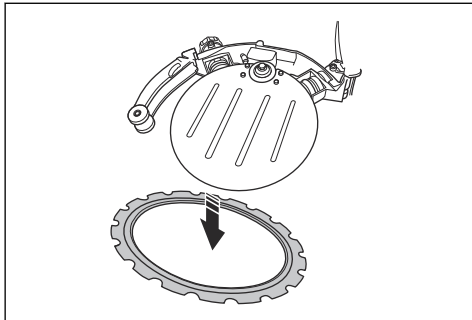
は 3 mm (0.12 インチ) です。摩耗したガイドローラーでは、距離 (B) は 1.5 mm (0.06 インチ) 未満です。



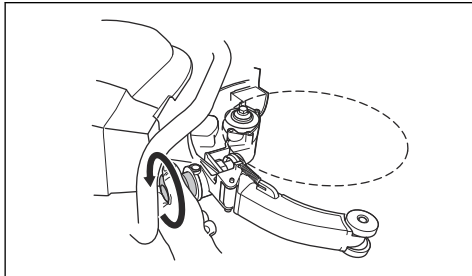
1. サポートローラーガードを取り外します。



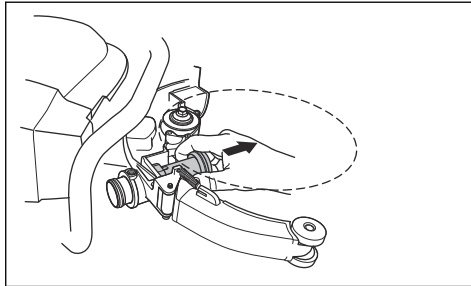
2. カuttingブレードを取り外します。



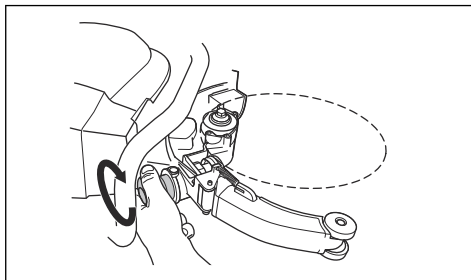
3. ノブを取り外します。



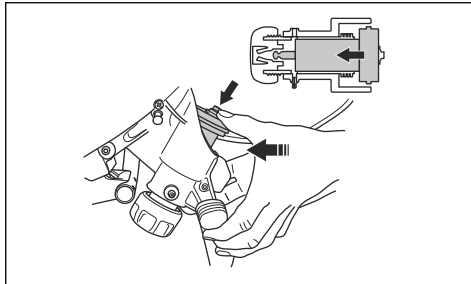
4. ガイドローラーを引き出します。



5. ノブを取り付けて、しっかりと締めます。その後で、ノブを 2 回転緩めます。



6. 新品のガイドローラーを本製品に取り付けます。



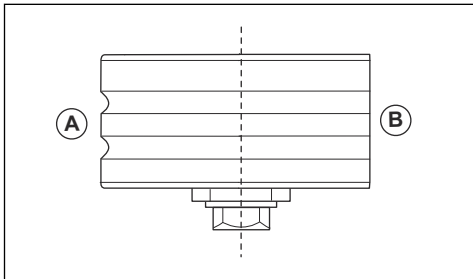
7. ガイドローラーを潤滑します。ガイドローラーを潤滑する 25 ページを参照してください。

8. Cuttingブレードとサポートローラーガードを取り付けます。Cuttingブレードの取り付け方法 11 ページを参照してください。

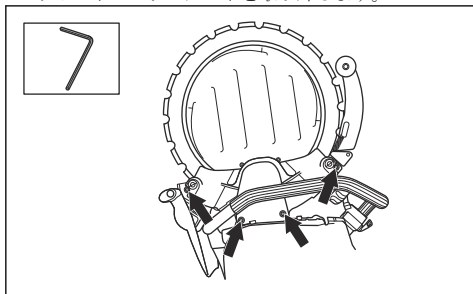
サポートローラーの交換

サポートローラーは、Cuttingブレードの耐用期間中に 2 回は検査しなければなりません。Cuttingブレードを取り付けた後とCuttingブレードが摩耗し始めたときに点検を行ってください。サポートローラーは、表面が平らになったら交換します。図は、新しい

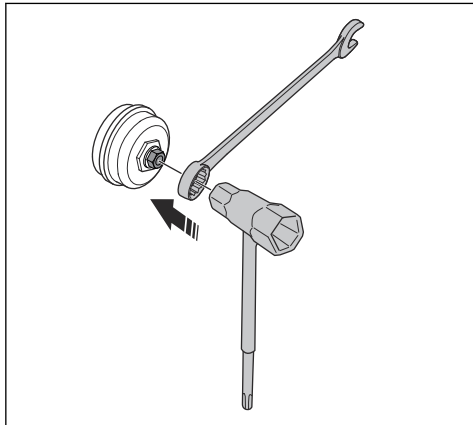
サポートローラー (A) と摩耗したサポートローラー (B) を示しています。



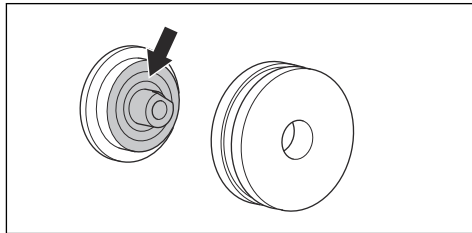
1. サポートローラーガードを取り外します。



2. 19 mm のオープンレンチと 13 mm のコンビレンチを使用してサポートローラーを取り外します。



3. サポートローラーの内表面にベアリンググリースを塗ります。



4. 新しいサポートローラーを取り付けます。
5. カuttingブレードとサポートローラーガードを取り付けます。サポートローラーがCuttingブレードに対して正しく調整されていることを確認します。Cuttingブレードの取り付け方法 11 ページを参照してください。

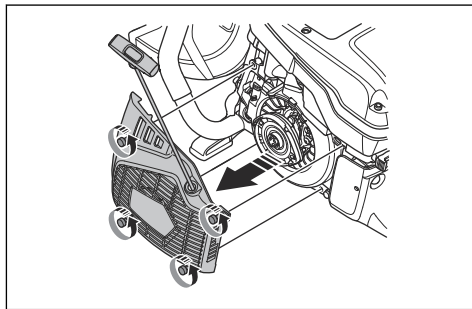
スターターハウジング



警告： リコイルスプリングやスターターロープを交換するときは、必ず防護メガネを着用し、十分に注意して実施してください。リコイルスプリングがスターターハウジングに巻かれると、スプリングに張力がかかります。リコイルスプリングが飛び出して負傷する可能性があります。

スターターハウジングの取り外し

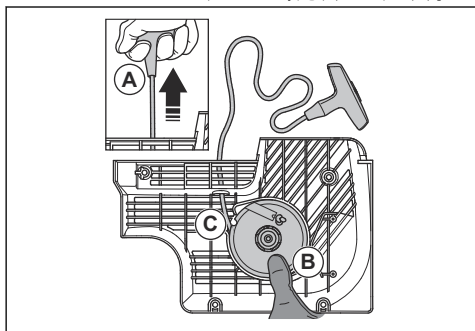
1. スターターハウジングの 4 本のネジを緩めます。



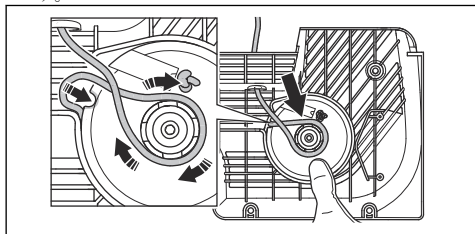
2. スターターハウジングを取り外します。

損傷したスターターロープを交換するには

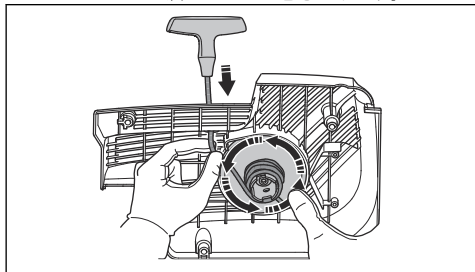
1. スターターロープを約 30 cm 引き出します (A)。



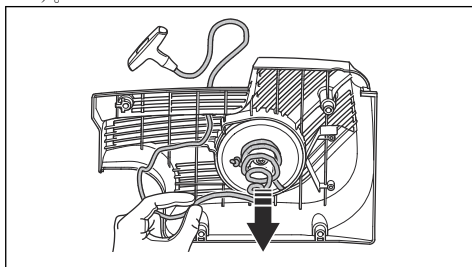
2. 親指でスターターロープのプーリー (B) を押さえます。
3. スターターロープをスタータープーリーの切欠部 (C) にかけます。
4. スターターロープを金属スリーブの周りに置きます。



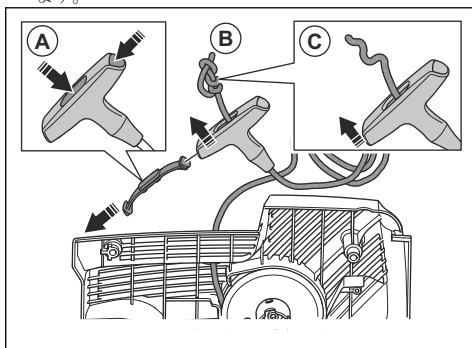
5. スタータープーリーをゆっくりと回転させ、スターターロープを金属スリーブに巻きつけます。



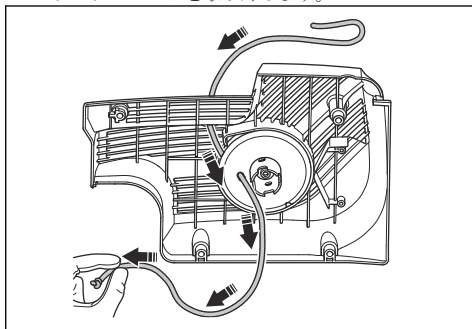
6. スターターロープを引き、金属スリーブから外します。



7. スターターロープハンドル (A) のカバーを取り外します。

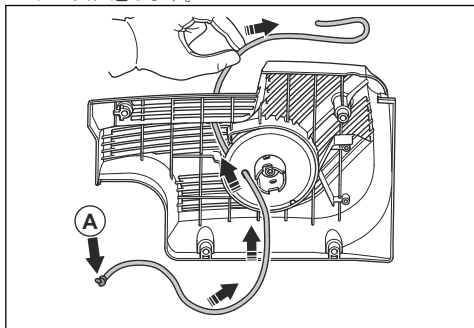


8. ハンドル (B) からスターターロープを引き上げます。
9. スターターロープの結び目 (C) を緩めます。
10. スターターロープを取り外します。

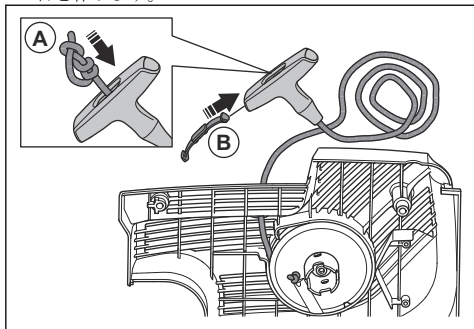


11. リコイルスプリングが清潔で、破損していないことを確認します。

12. 新しいスターターロープ (A) をスターターハウジングの穴に通します。



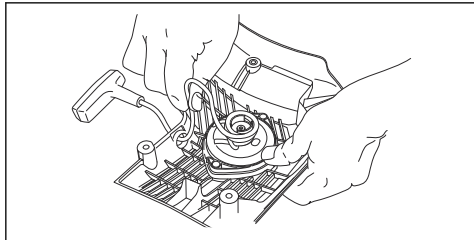
13. スターターロープハンドルを通してスターターロープを引き出し、スターターロープ (A) の末端で結び目を作ります。



14. スターターロープハンドル (B) にカバーを取り付けます。
15. リコイルスプリングの張りを調整します。リコイルスプリングの張りを調整するには 29 ページを参照してください。

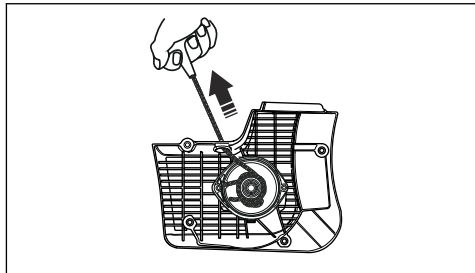
リコイルスプリングの張りを調整するには

1. ロープをスタータープリーリーの切り欠きにかけます。スタータープリーリーの中心の周りに、ロープを 3 回時計回りに巻き付けます。



2. スターターノブを引いて、リコイルスプリングの張りを調整します。

3. ロープをスタータープリーリーの切り欠きにかけます。スタータープリーリーの中心の周りに、ロープを 4 回時計回りに巻き付けます。
4. スターターノブを引いて、リコイルスプリングの張りを調整します。



注記： 張りを調整した後はスターターノブは元の位置に移動します。

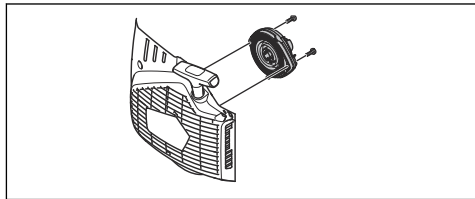
5. スターターロープを引き出してリコイルスプリングが終端位置ではないことを確認します。スタータープリーリーを親指でゆっくりと回します。
6. リコイルスプリングが停止する前に、スタータープリーリーが半回転以上回ることを確認してください。

スプリングアセンブリを取り外すには



警告： スプリングアセンブリを取り外すときは、必ず防護メガネを着用してください。スプリングが破損するなどして、目を怪我するおそれがあります。

1. スプリングアセンブリの 2 本のネジを取り外します。



2. ドライバーを使用して、スナップロックに 2 個のブラケットを押し込みます。

スプリングアセンブリを清掃するには



注意： アセンブリからスプリングを取り外さないでください。

1. 汚れが落ちるまで、スプリングに圧縮空気を吹きかけます。
2. スプリングにオイルを軽く塗布します。

スプリングアセンブリを取り付けるには

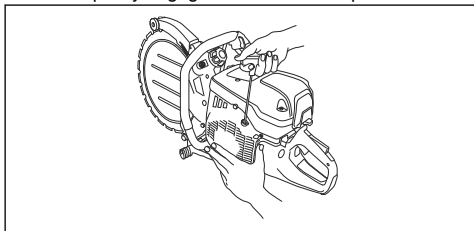
- スプリングアセンブリを取り外すには 29 ページの逆の手順で組み立てます。

To install the starter housing



注意： The starter pawls must come into the correct position against the starter pulley sleeve.

- Put the starter housing against the product.
- Pull out and release the starter rope slowly until the starter pulley engages with the starter pawls.



- Tighten the 4 screws on the starter housing.

キャブレターを点検するには

注記： キャブレターには硬質の針がついており、これにより本製品は常に燃料と空気の適切な混合物を取り込むことができます。

- エアフィルターを点検します。を参照してください。エアフィルターを点検するには 30 ページ
- 必要に応じて、エアフィルターを交換します。
- エンジンの出力や速度が低下し続ける場合は、HUSQVARNA サービス代理店にお問い合わせください。

燃料システムを点検するには

- 燃料キャップとシール部に損傷がないことを確認します。
- 燃料ホースを点検します。燃料ホースが損傷している場合は、交換します。

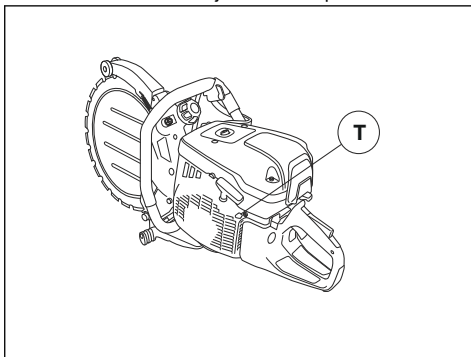
To adjust the idle speed



警告： If the cutting blade rotates at idle speed, speak to your servicing dealer. Do not use the product until the idle speed is correctly adjusted or repaired.

注記： For recommended idle speed refer to *Technical data33* ページ。

- Start the engine.
- Examine the idle speed. When the carburetor is correctly adjusted, the cutting blade stops when the engine is at idle speed.
- Use the T screw to adjust the idle speed.



- Turn the screw clockwise until the blade starts to rotate.
- Turn the screw counterclockwise until the blade stops to rotate.

燃料フィルター

燃料フィルターは、燃料タンク内に取り付けられています。燃料フィルターは、燃料が充填された燃料タンクの汚れを防止します。燃料フィルターは年 1 回以上、詰まりがある場合はもっと頻繁に交換する必要があります。



注意： 燃料フィルターは清掃しないでください。

エアフィルターを点検するには

注記： エンジンの出力が低下した場合のみエアフィルターを点検してください。



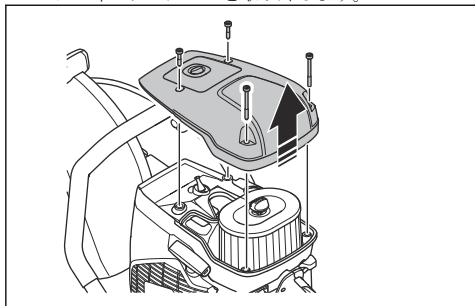
注意： エアフィルターを取り外すときは注意してください。キャブレターの入口に粒子が入り込むと損傷を引き起こす可能性があります。



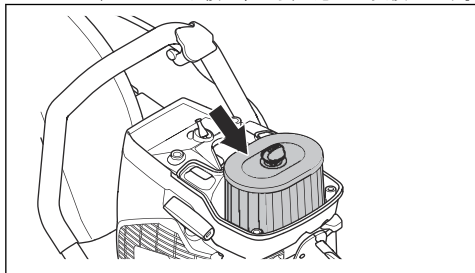
警告： エアフィルターを交換する場合は、認可された呼吸器保護具を使用してください。エアフィルター内の粉塵は健康被害を招く恐れがあります。使用済みのエアフィルターは適切に廃棄してください。

- エアフィルターカバーの 4 本のネジを緩めます。

2. エアフィルターカバーを取り外します。

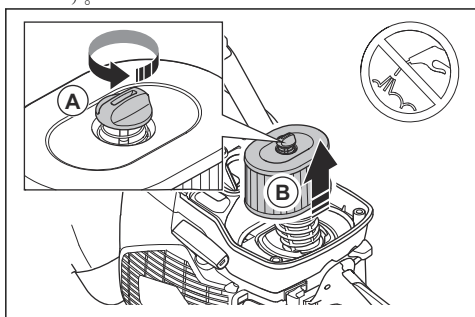


3. エアフィルターを点検し、必要に応じて交換します。



注意：エアフィルターを清掃または圧縮空気を噴射しないでください。エアフィルターが損傷します。

4. 必要に応じてエアフィルターを交換します。
a) ネジ (A) を緩めてエアフィルター (B) を外します。

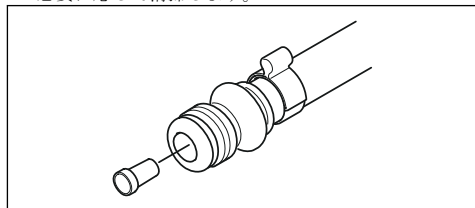


- b) エアフィルターを取り付けます。

5. エアフィルターカバーを取り付けて4本のネジを締めます。

給水システムの点検方法

1. ブレードガードのノズルを点検し、ノズルが詰まっていないことを確認します。
2. 必要に応じて清掃します。
3. 水コネクターのフィルターを点検します。詰まりがないことを確認します。
4. 必要に応じて清掃します。



5. ホースを点検して損傷していないことを確認します。

トラブルシューティング

問題	原因	解決策
カッティングブレードが回転しません。	ガイドローラーノブがしっかり締まっています。	ガイドローラーノブをしっかり締めます。
	カッティングブレードがガイドローラーに正しく取り付けられていません。	カッティングブレードを再度取り付けて、カッティングブレードが回転することを確認します。
	サポートローラーの張りが強すぎます。	サポートローラーの張りを調整します。
カッティングブレードの回転が遅すぎます。	サポートローラーの張りが強すぎます。	サポートローラーの張りを調整します。
	ドライブホイールが摩耗しています。	ドライブホイールに摩耗がないか調べます。必要に応じて、ドライブホイールを交換します。
	カッティングブレードの内径が摩耗しています。	カッティングブレードに摩耗がないか調べます。必要に応じて、カッティングブレードを交換します。
	ガイドローラーのスプリングが弱くなっています。	ガイドローラーを交換するか、認定サービス代理店に相談してください。
	ガイドローラーのベアリングに欠陥があります。	ガイドローラーとサポートローラーを交換するか、認定サービス代理店に相談してください。
	サポートローラーのベアリングに欠陥があります。	
カッティングブレードが外れる。	サポートローラーが緩みすぎています。	サポートローラーを調節します。
	ガイドローラーが摩耗しています。	ガイドローラーに摩耗がないか調べます。必要に応じて、ガイドローラーを交換します。
	カッティングブレードがガイドローラーに正しく取り付けられていません。	カッティングブレードを再度取り付けて、カッティングブレードが回転することを確認します。
	カッティングブレードが損傷しています。	カッティングブレードに摩耗がないか調べます。必要に応じて、カッティングブレードを交換します。
カッティングブレードがねじれています。	サポートローラーの張りが強すぎます。	サポートローラーの張りを調整します。
	カッティングブレードが過熱しています。	水流を点検します。必要に応じて、水流を調整します。
切片が割れます。	カッティングブレードが曲がっている（ねじれている）か、またはメンテナンスが正しく行われていません。	カッティングブレードに摩耗がないか調べます。必要に応じて、カッティングブレードを交換します。
カッティングブレードによる切断が遅すぎます。	切断する素材に適さないカッティングブレードが使用されています。	推奨カッティングブレードに変えてください。

問題	原因	解決策
カッティングブレードが切断中にスリップします。	ガイドローラーが自由に動かないため、カッティングブレードをドライブホイールにしっかりと強く押し付けることができません。	ガイドローラーのスリーブが自由に動くようにします。必要であれば、ガイドローラーを取り外します。清掃して潤滑剤を塗ってから、再度取り付けてください。
	ドライブホイールが摩耗しています。運転時の研磨材や水不足が原因で、ドライブホイールの摩耗が速くなります。	ドライブホイールに磨耗がないか調べます。必要に応じて、ドライブホイールを交換します。
	ガイドローラーのフランジが摩耗しています。フランジの幅の半分以上が摩耗していると、カッティングブレードはスリップします。	ガイドローラーに磨耗がないか調べます。必要に応じて、ガイドローラーを交換します。
	ブレードの溝と内側エッジが摩耗しています。これは、研磨材が少なかったりドライブホイールが摩耗していることが原因で起こります。	カッティングブレード、ドライブホイール、ガイドローラーに磨耗がないか調べます。必要に応じて、これらを交換します。
		水流を点検します。

搬送、保管、廃棄

搬送と保管

- 搬送中は本製品を安全に接続して、損傷や事故を防止してください。
- 本製品を搬送または保管する前に、カッティングブレードを取り外してください。
- 本製品は鍵のかかる場所に保管して、子供や許可を得ていない人が近づけないようにしてください。
- カッティングブレードは、霜の発生しない乾燥した場所に保管してください。
- 組み立て前に、新しいブレードや使用済みのブレードの輸送および保管時の損傷をすべて点検してください。
- 保管前に、本製品を清掃し、メンテナンスしてください。Maintenance schedule22 ページを参照してください。

- 長期保管する前に、燃料タンクから燃料を排出してください。

廃棄

- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- すべての化学物質（オイルや燃料など）は、サービスセンターまたは適切な廃棄場所に廃棄してください。
- 本製品が不要になった場合は、HUSQVARNA 販売店に送付するか、リサイクル施設で廃棄してください。

主要諸元

Technical data

Engine	
Cylinder displacement, cm ³ /cu.in.	93.6/5.7
Cylinder bore, mm/in.	56 /2.2
Travel length, mm/in.	38/1.5
Idle speed, rpm	2700
Fully opened throttle, no load, rpm	9300 (+/- 150)
Power, kW/hp @rpm	4.8 /6.5 @9000

Ignition system	
Spark plug	NGK BPMR 7A
Electrode gap, mm/in.	0.5/0.02
Manufacturer of ignition system	SEM
Type of ignition system	CD
Fuel and lubrication system	
Manufacturer of carburetor	Walbro
Carburetor type	RWJ-7
Fuel tank capacity, liters/US fl oz	1/33.8
Weight	
Power cutter without fuel and cutting blade 370mm (14in.) kg/lb	13.8/30.4
Power cutter without fuel and cutting blade 430mm (17in.) kg/lb	14.2/31.3
Water cooling	
Recommended water pressure, bar/PSI	1.5-10/22-150
Recommended water flow, litres/min / gal(US)/min	4/1
Noise emissions	
Sound power level, measured dB (A)	114
Sound power level, guaranteed L_{WA} dB (A) ¹	115
Equivalent sound pressure level at the ear of the operator, dB (A) ²	104
Equivalent vibration levels, a_{hveq}³	
Front 370mm (14in.), m/s^2	2.7
Front 430mm (17in.), m/s^2	3.5
Rear handle 370mm (14in.), m/s^2	3.4
Rear handle 430mm (17in.), m/s^2	3.4
Exhaust emissions (CO2 EU V)⁴	

¹ Noise emissions in the environment are measured as sound power (L_{WA}) in conformity with directive 2000/14/EC. The difference between guaranteed and measured sound power is that the guaranteed sound power includes dispersion in the measured result and variations between different units of the same product according to directive 2000/14/EC.

² Equivalent sound pressure level, according to EN ISO 19432-1, is calculated as the time-weighted energy total for different sound pressure levels in various working conditions. Reported data for equivalent sound pressure level for the product has a typical statistical dispersion (standard deviation) of 1 dB (A).

³ Equivalent vibration level, according to EN ISO 19432-1, is calculated as the time-weighted energy total for vibration levels in different work conditions. Reported data for equivalent vibration level has a typical statistical dispersion (standard deviation) of $1m/s^2$.

⁴ This CO2 measurement results from testing over a fixed test cycle under laboratory conditions a(n)(parent) engine representative of the engine type (engine family) and shall not imply or express any guarantee of the performance of a particular engine.

2-stroke engine	736 g/kWh

Recommended cutting blade dimensions

Cutting blade diameter, mm/in.	Max. cutting depth, mm/in.	Max. peripheral speed, m/s ft/min	Max. speed of blade, rpm	Blade weight, kg/lb
370/14	270/10.6	55/11000	2800	0.8/1.8
430/17	325/12.8	47/9300	2100	1.1/2.3

騒音と振動についての公表値

これらの公表値は、指定された指令または標準に基づいた実験室での型式試験で取得されたものであり、同じ指令または標準に基づいて試験された他の製品の公表値との比較に適したものです。これらの公表値はリスク評価での使用には適しておらず、また個々の作業現場での測定値はより高くなる可能性があります。個々のユーザーが実際に暴露される値および危害のリスクは、ユーザーが行う作業、製品で処理する素材、ユーザーの暴露時間、ユーザーの健康状態、および製品の状態によって異なります。

適合宣言

EU 適合宣言

ハスクバーナ社 (Husqvarna AB, SE-561 82 Huskvarna, Sweden、電話番号: +46-36-146500) は、単独責任のもとで、以下の製品の適合を宣言します。

名称	ポータブルパワーカッター
ブランド	HUSQVARNA
タイプ/モデル	K 970 III RING
ID	2022 年以降の製造番号

は以下の EU 指令および規制を完全に順守しています。

指令/規制	名称
2006/42/EC	「機械類に関する」
2000/14/EC	「屋外の騒音に関する」
2014/30/EU	「電磁環境適合性に関する」
2011/65/EU	「有害物質の制限に関する」

以下の統一された規格および/または技術仕様が適用されていることを当社単独の責任で宣言します。

EN ISO 12100:2010、EN ISO 19432-1:2020、EN 55012:2008+A1:2009、EN ISO 14982:2009、EN IEC 63000:2018

SMP Svensk Maskinprovning AB は、評議会指令 2000/14/EC の付録 V に従って自主試験を実施しました。騒音排出に関する詳細は、「*Technical data33* ページ」を参照してください。

Partille, 2022-04-20



Erik Silfverberg

コンクリート切断および穿孔設備研究開発責任者

Husqvarna AB, Construction Division

正式代表兼技術文書担当





www.husqvarnaconstruction.com

取扱説明書原本



2025-04-14